

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味

**警告**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。

**注意**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号

**ポイント**

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。

**補足**

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>

**警告**

- 門扉は人や車の出入りする場所に設置するものです。使用用途・目的を踏まえた上で必ず安全な場所に設置してください。
特に開閉時の扉が公道（道路面）に飛び出さないようにしてください。

**注意**

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 指定寸法は必ず守ってください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

<施工上のご注意>

⚠ 注意

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 外開きタイプでは開閉時に扉が公道（道路面）等へ飛び出さない位置に設置してください。
- 施工終了後は扉の開閉チェックを行ない、不具合がないか確認してください。

■梱包明細表

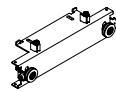
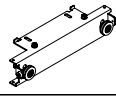
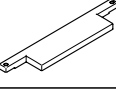
【1】引戸本体

名 称	略 図	員数
引戸本体		1

【2】開戸本体

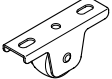
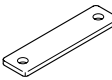
名 称	略 図	員数
開戸本体		1
上ヒンジ		1
下ヒンジ		1
ヒンジ裏板		2
ヒンジキャップ		2
ヒンジカバー		2
落とし棒受け		2
【2-1】 M4×10トラスネジ		8

【3】部品セット

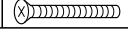
名 称	略 図	員数	
		標準柱	ロング柱
ガイドローラー 上		1	1
ガイドローラー 下		1	1
破損防止ストッパー		2	1
ガイドローラーカバー		2	2
ガイドローラー 側面カバー		4	4
戸当りガイド		1	1
戸当りガイド受け		1	1
破損防止ストッパー当て板		2	1
サポートベース 調整スペーサー（※1）		—	2

※1 高さ調整が必要な場合に使用します。

【3】部品セット (つづき)

名 称	略 図	員数	
		標準柱	ロング柱
戸車		—	1
戸車取付裏板		—	1
吊元框当て板		—	1
穴隠しシール		—	5
【3-1】 M6×15 (+) 六角ボルト (PW+SW)		12	10
【3-2】 φ4×25サラタッピンネジ2種 G=5		4	4
【3-3】 φ4×20トラスタッピンネジ3種 D=8		2	2
【3-4】 M8×15六角ボルト (PW+SW)		—	2
【3-5】 φ4×10ナベドリルネジ		—	2
取付説明書<A544>	—	1	1
取扱説明書<UA199>	—	1	1

【4】錠セット 両面シリンダー

名 称	略 図	員数
錠本体		1
錠ハンドル (道路側)		1
錠ハンドル (家側)		1
ストライクセット		1
ディンプルキー	 ※錠ハンドル (道路側) に固定されています。	3
連結板	 ※錠ハンドル (家側) に固定されています。	1
【4-1】 ラックナット		2
【4-2】 M4×14サラ小ネジ		2
【4-3】 M5×55サラ小ネジ		2

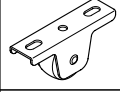
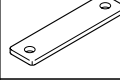
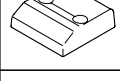
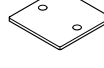
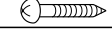
【5】錠セット 片面シリンダー

オプション

名 称	略 図	員数
錠本体		1
錠ハンドル (道路側)		1
錠ハンドル (家側)		1
ストライクセット		1
キー	 ※錠ハンドル (道路側) に固定されています。	3
【5-1】 ラックナット		2
【5-2】 M4×14サラ小ネジ		2
【5-3】 M5×45サラ小ネジ		2

【6】サポートベースセット

オプション

名 称	略 図	員数
戸車		1
戸車取付裏板		1
吊元框当て板		1
サポートベース		1
サポートベース調整スペーサー (※1)		4
【6-1】 M8×15六角ボルト (PW+SW)		2
【6-2】 φ4×10ナベドリルネジ		2
【6-3】 S8フィッシャープラグ		2
【6-4】 φ5.1×38丸木ネジ		2

※1 高さ調整が必要な場合に使用します。

1. 基本寸法図と各部の名称

※図は引戸が右引き、開戸が左勝手（右引き用）です。

※＜ ＞内寸法は片面シリンダー錠 **オプション** の場合を示します。

1-1 標準柱

(1) 標準柱片引き

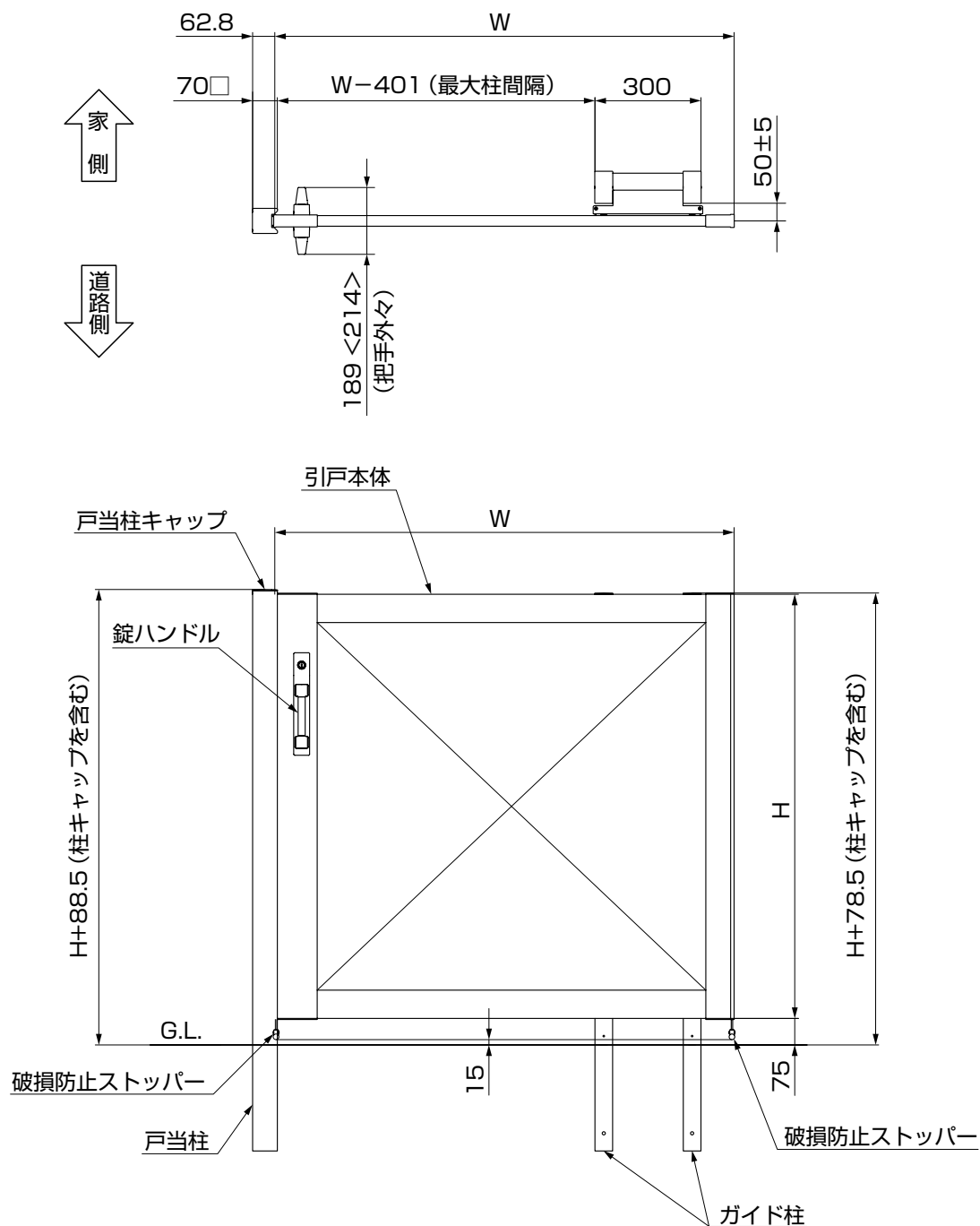


表1-1

呼称	W	H
13-10	1300	1000
13-12	1300	1200
15-10	1500	1000
15-12	1500	1200

(2) 標準柱開戸付き

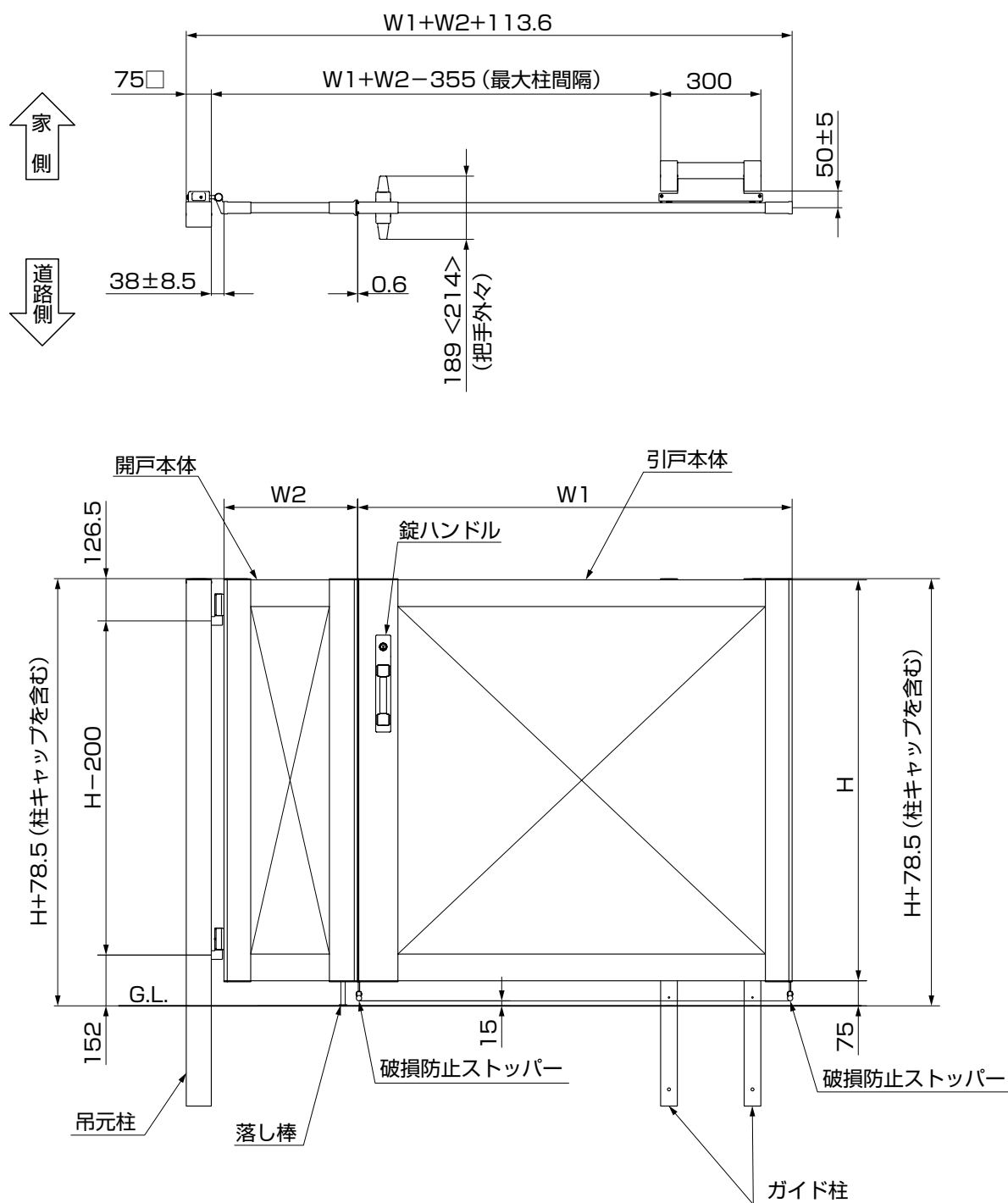


表1-2

呼称	W1	W2	H
04-10+13-10	1300	400	1000
04-12+13-12	1300	400	1200
04-10+15-10	1500	400	1000
04-12+15-12	1500	400	1200

1. (つづき)

1-2 ロング柱 ※図はステップ高さ200mmの場合を示します。

(1) ロング柱片引き

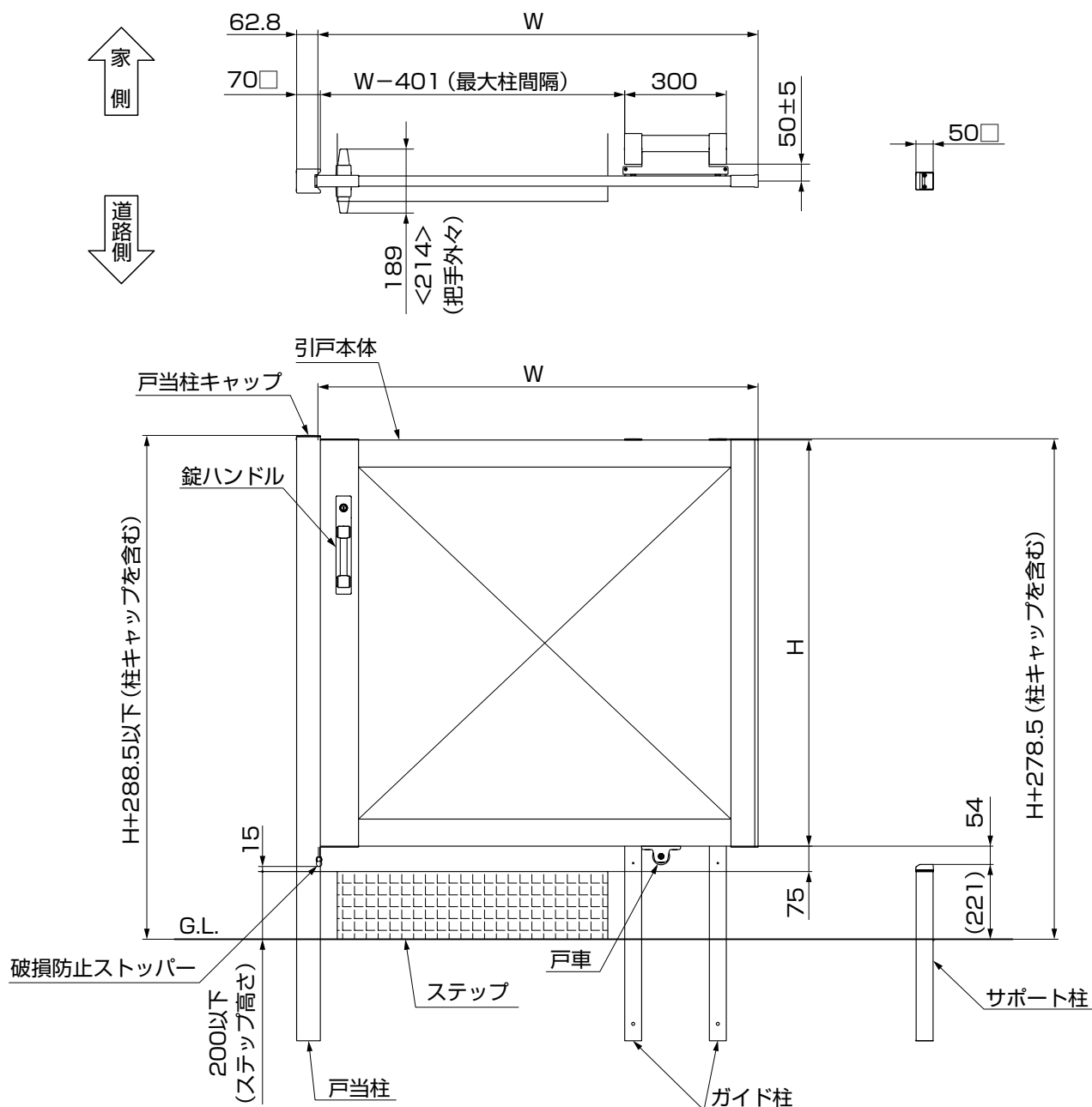


表1-3

呼称	W	H
13-10	1300	1000
13-12	1300	1200
15-10	1500	1000
15-12	1500	1200

補足

●ステップの高さは、タイル等の仕上げ面を含め最大200mmとしてください。

(2) ロング柱開戸付き

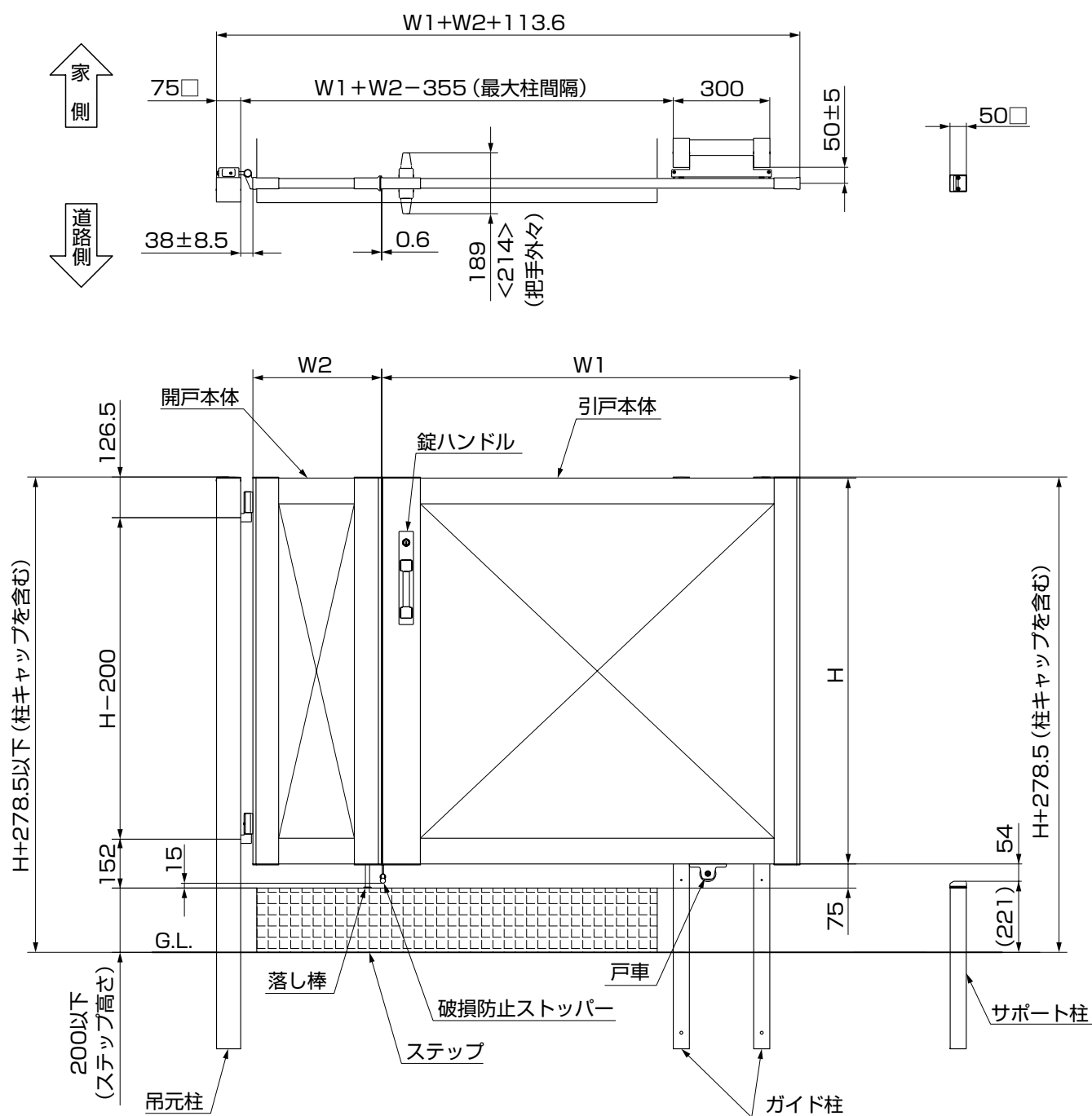


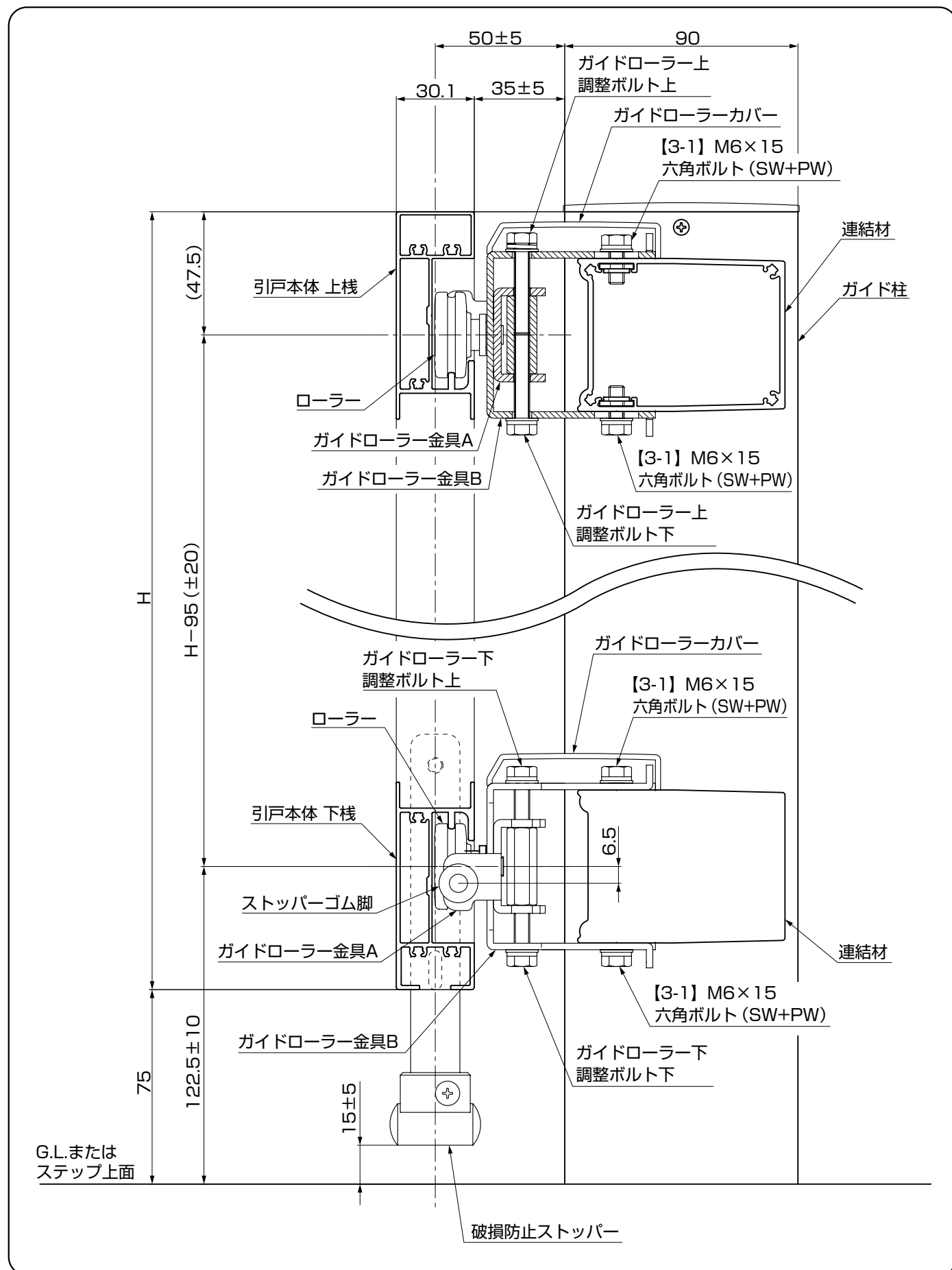
表1-4

呼称	W1	W2	H
04-10+13-10	1300	400	1000
04-12+13-12	1300	400	1200
04-10+15-10	1500	400	1000
04-12+15-12	1500	400	1200

補足

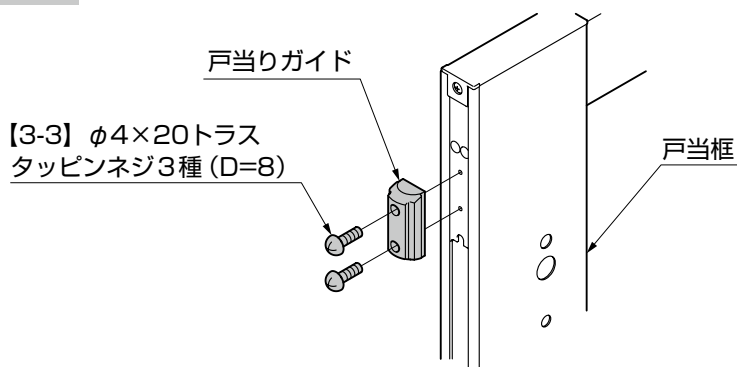
●ステップの高さは、タイル等の仕上げ面を含め最大200mmとしてください。

2.ガイドローラー納まり図



3. 本体の吊込みの準備

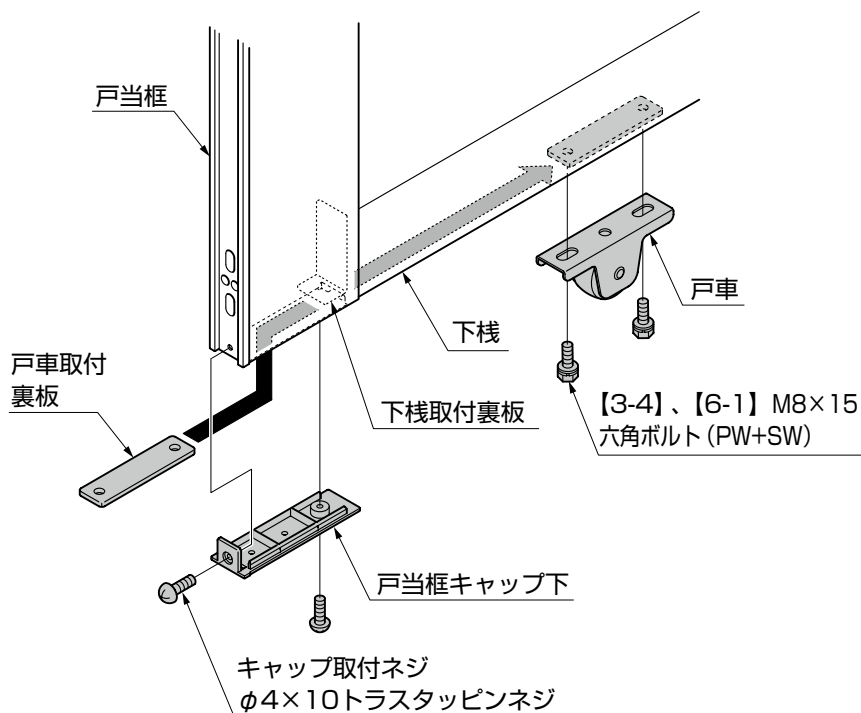
3-1 戸当りガイドの取付け



- ①戸当りガイドを戸当りに【3-3】で取付けてください。

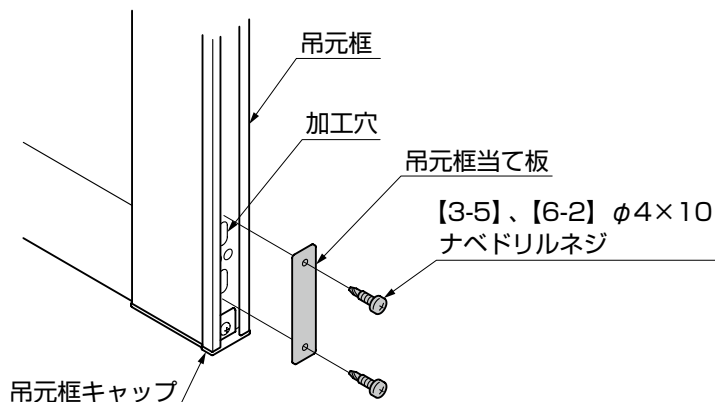
3-2 戸車の取付け ※ロング柱の場合、サポートベース **オプション** を使用する場合の作業です。

(1) 戸車の取付け



- ①キャップ取付ネジを取外し、戸当りキャップ下を取外してください。
- ②戸車取付裏板を下棧の端部からスライドしてください。
- ③戸車を戸車取付裏板に【3-4】または【6-1】で取付けてください。
- ④戸当りキャップ下を戸当りと下棧取付裏板にキャップ取付ネジで取付けてください。

(2) 吊元框当て板の取付け



- ①吊元框当て板を吊元框に【3-5】または【6-2】で取付けてください。

補足

- 吊元框当て板は框の加工穴が隠れるように取付けてください。

3. (つづき)

3-3 破損防止ストッパーの取付け

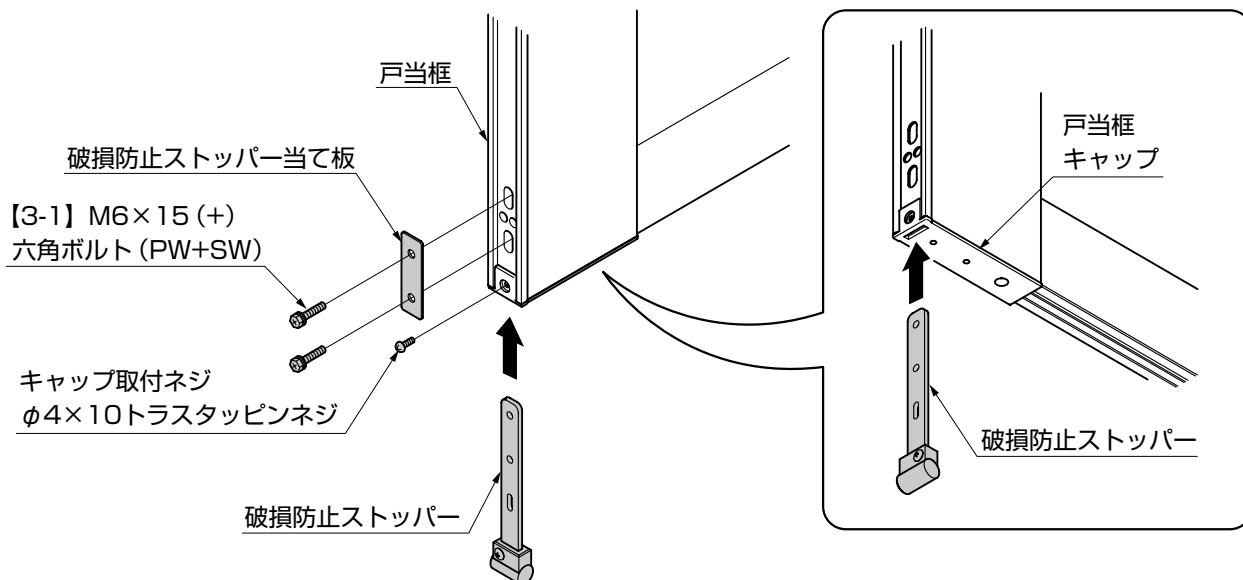


図3-1 戸当框の場合

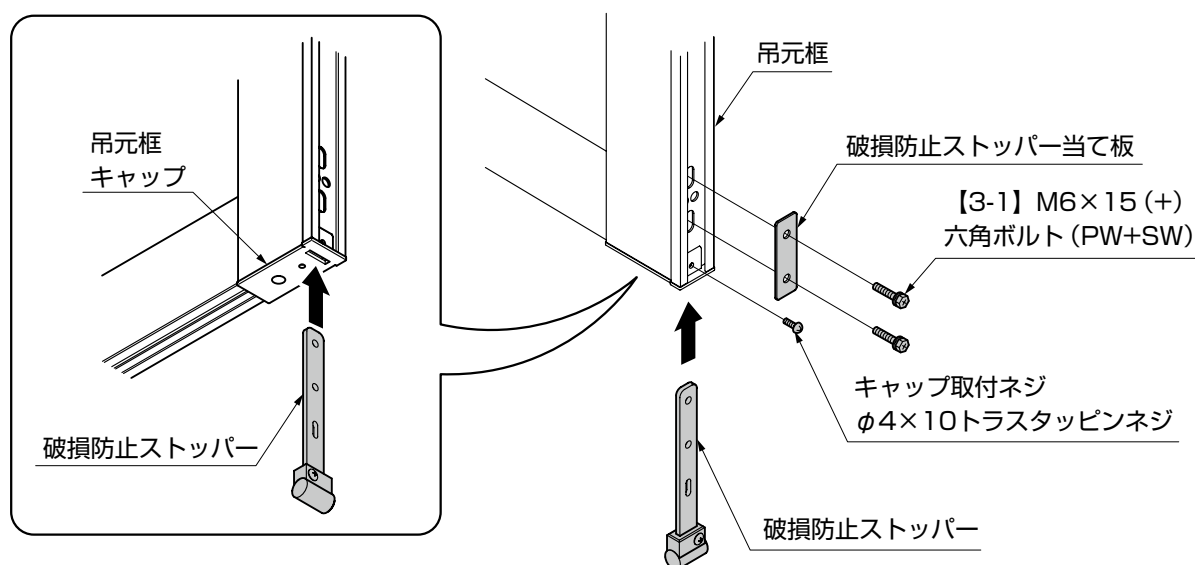


図3-2 吊元框の場合

- ①キャップ取付ネジを外してください。
- ②破損防止ストッパーを框キャップの下から差し込んでください。
- ③破損防止ストッパー当て板を框にあて、【3-1】で共締めしてください。
- ④キャップ取付ネジを取付けてください。

補足

- 標準柱の場合は、吊元框にも同様に取付けてください。(図3-2参照)
- ロング柱の場合は、戸当框にのみ取付けてください。
- サポートベース **オプション** を使用する場合は、吊元框側の破損防止ストッパーは使用しません。

4. ガイドローラーの取付け

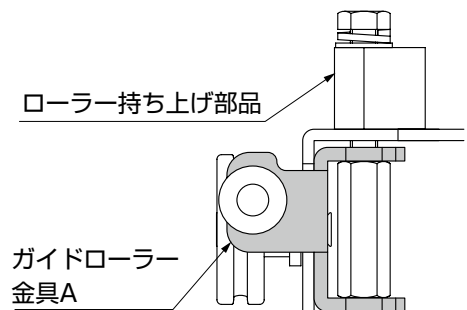
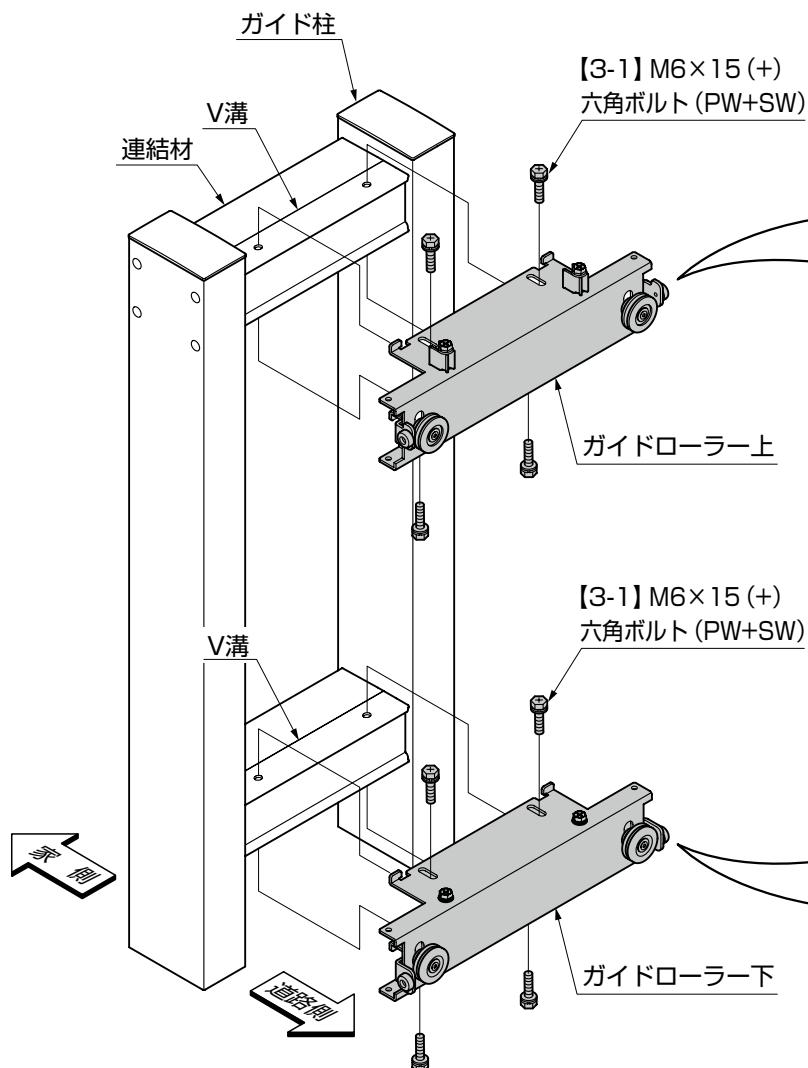


図4-1 ガイドローラー上

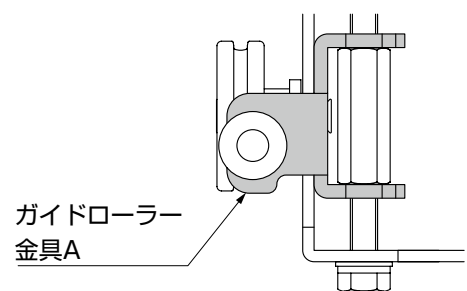


図4-2 ガイドローラー下

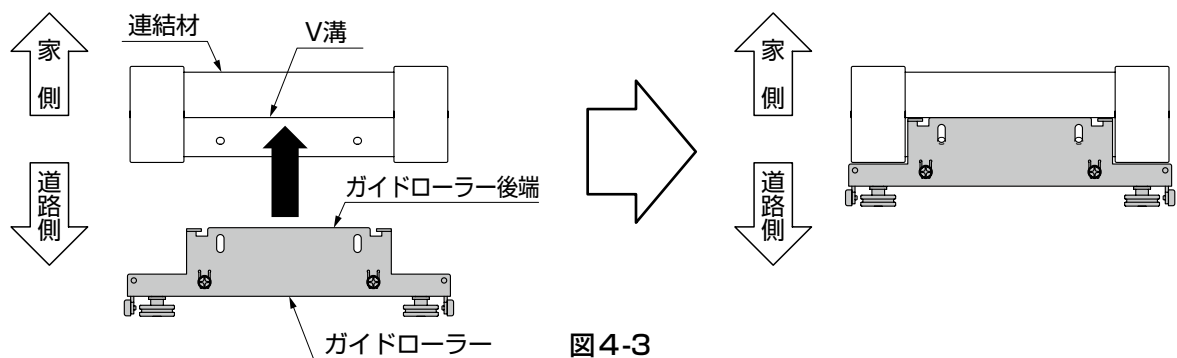


図4-3

①ガイドローラー上、ガイドローラー下を連結材に【3-1】で取付けてください。

ポイント

- ガイドローラーには向きがあります。ガイドローラー金具Aの向きに注意して取付けてください。(図4-1、図4-2参照)
- ガイドローラーの後端を連結材のV溝に合わせて固定してください。(図4-3参照)

5. ガイドローラー下の調整

5-1 ガイドローラー下の確認

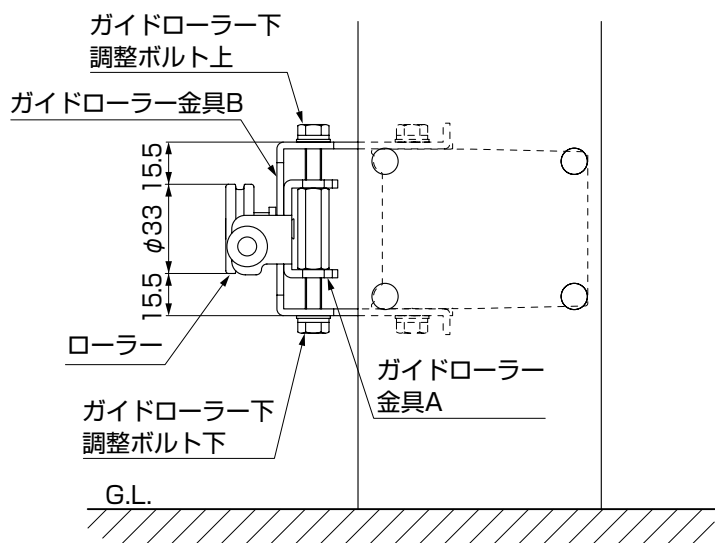


図5-1

- ①ガイドローラー下のローラー中心がガイドローラー金具Bの中心にあることを確認してください。

(図5-1参照)

補足

- ガイドローラー下のローラーの位置は、出荷時に中心にしてあります。

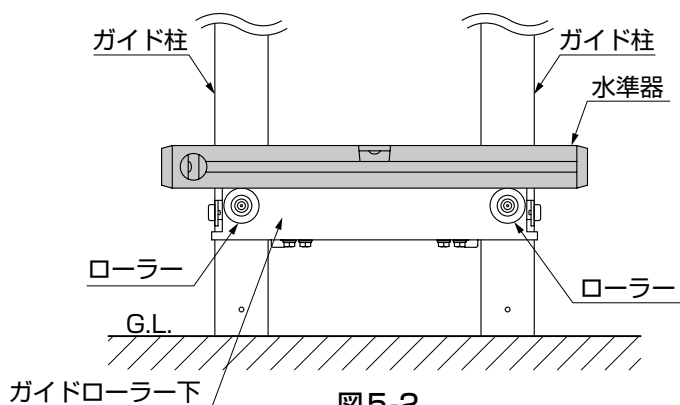


図5-2

- ②ガイドローラー下のローラーに水準器を置き、ローラーが水平であることを確認してください。(図5-2参照)

ポイント

- ローラー位置が水平でない場合は、「5-2 ガイドローラー下の調整」を参照して調整してください。

5-2 ガイドローラー下の調整 ※「2. ガイドローラー納まり図」も合わせて参照してください。 ※ローラーが水平でない場合に行なってください。

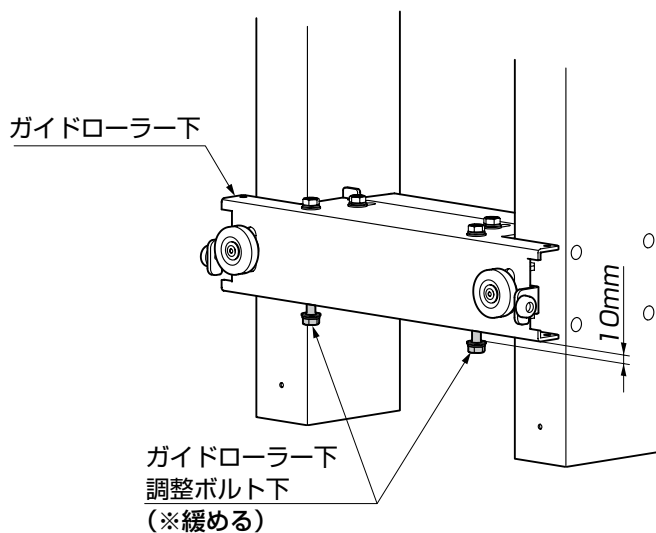


図5-3

- ①ガイドローラー下の調整ボルト下を10mm程度緩めてください。

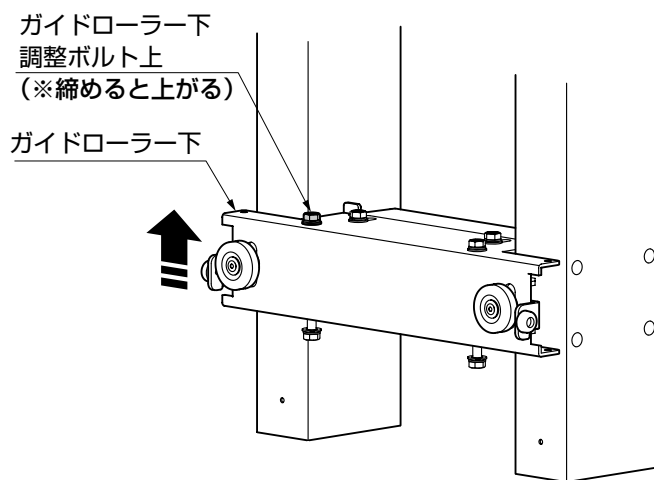


図5-4 左側を調整する場合

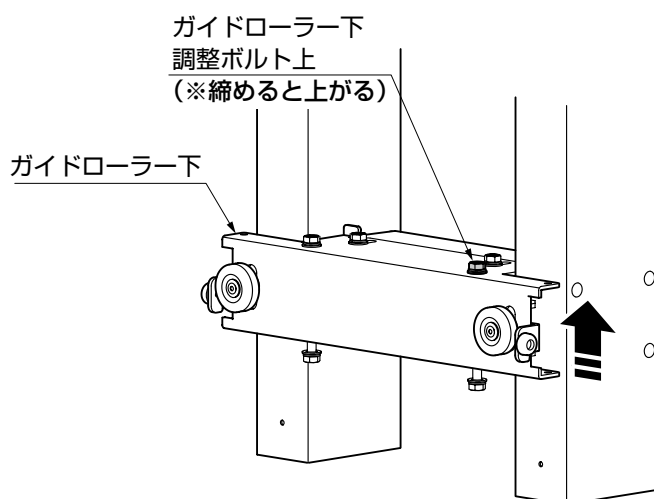


図5-5 右側を調整する場合

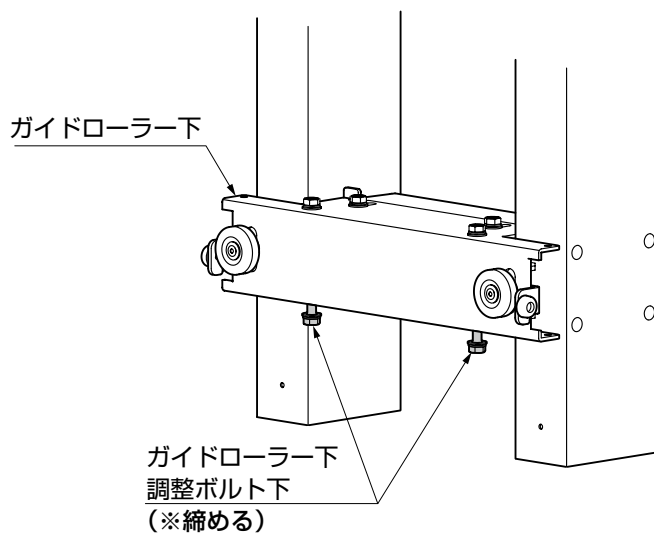


図5-6 ガイドローラー下の固定

②ガイドローラー下のローラーが水平になるように調整してください。
(図5-4、図5-5参照)

ポイント

- 調整ボルト上は、少しずつ調整してください。
- 調整ボルトの調整には、電動ドライバーを使用しないでください。
- ローラーを上げすぎると引戸本体が吊れなくなる場合があります。
- スムーズな引戸本体の開閉のため、ローラーの高さと水平の調整は正確に行ってください。

補足

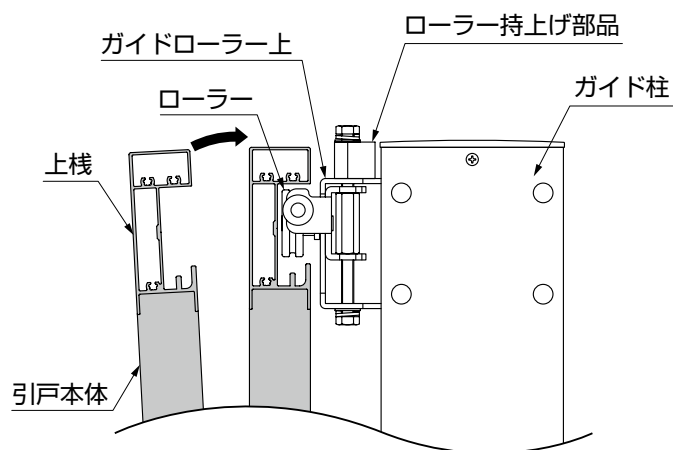
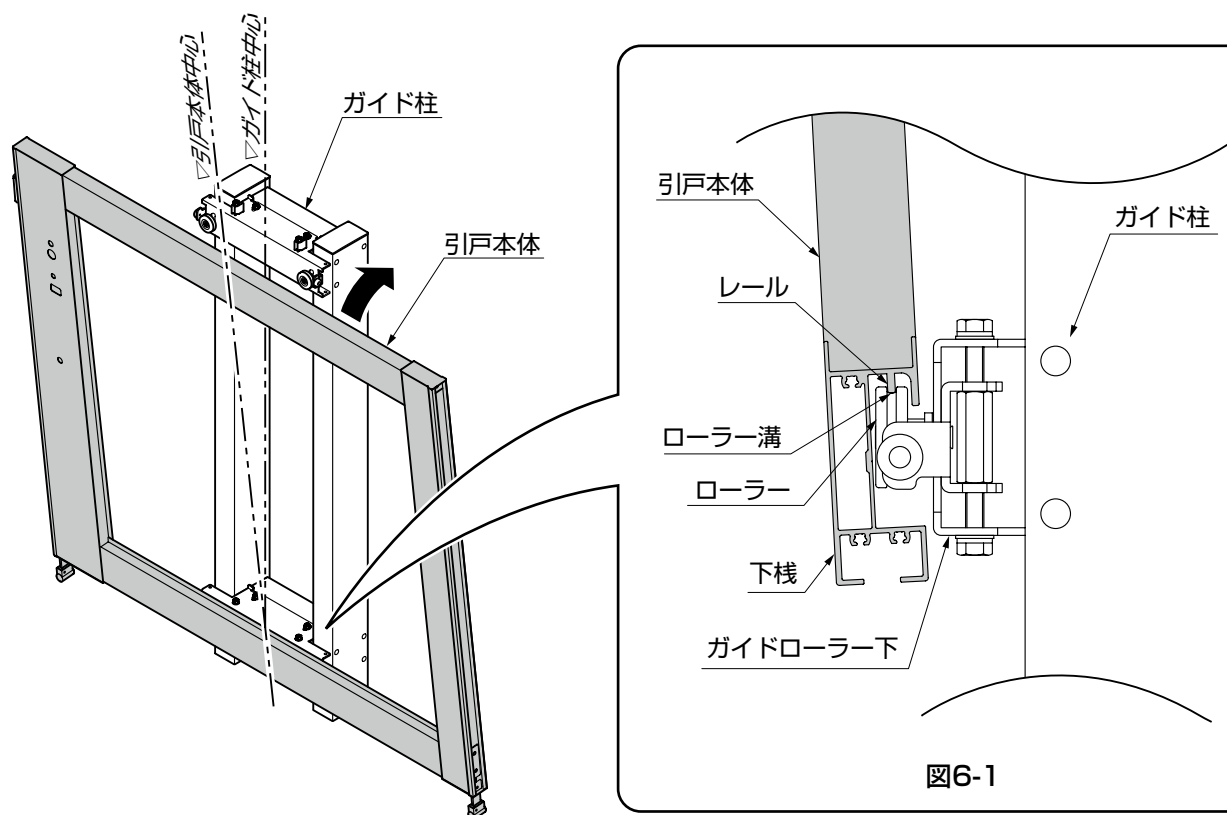
- ガイドローラー下の調整ボルト上を締めると、ローラーは上がります。

③ローラーの高さと水平が確認できたら、ガイドローラー下の調整ボルト下を締めてローラーを固定してください。
(図5-6参照)

補足

- ガイドローラー下の調整ボルト下を締めるときは、調整ボルト上が回らないようスパナ等で固定して締めてください。

6. 引戸本体の吊込み



- ①引戸本体下棧のレール部分をガイドローラー下のローラー溝部分に乗せてください。(図6-1参照)

補足

- 引戸本体を吊込む時は、引戸本体の中心とガイド柱の中心を合わせてください。

- ②ガイドローラー上のローラー部分を引戸本体の上棧内に入れてください。(図6-2参照)

注意

- 引戸本体が倒れないよう注意してください。ケガをしたり、引戸本体が破損するおそれがあります。

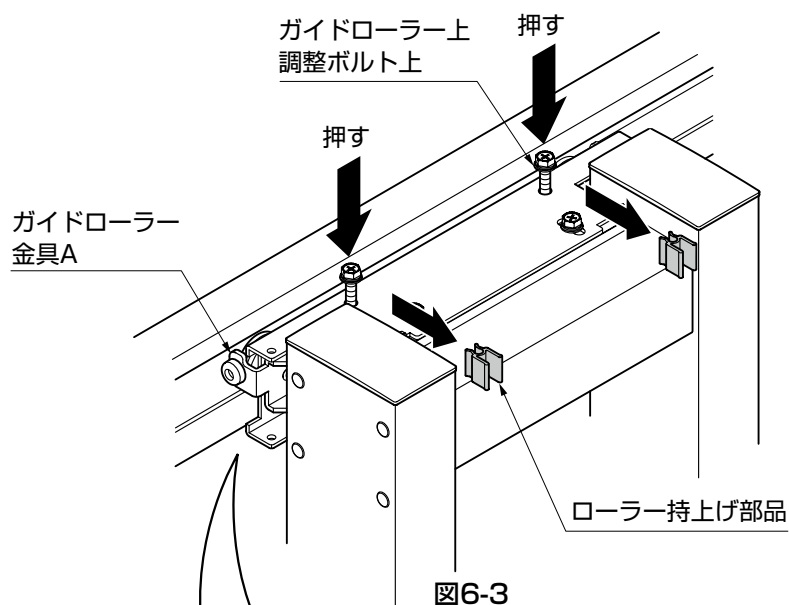


図6-3

- ③ガイドローラー上のローラー持ち上げ部品を外し、ガイドローラー金具Aを下げてください。(図6-3参照)

補足

- ガイドローラー金具Aが下がらない時は、ガイドローラー上の調整ボルト上を押してください。
- 取外したローラー持ち上げ部品は使用しません。

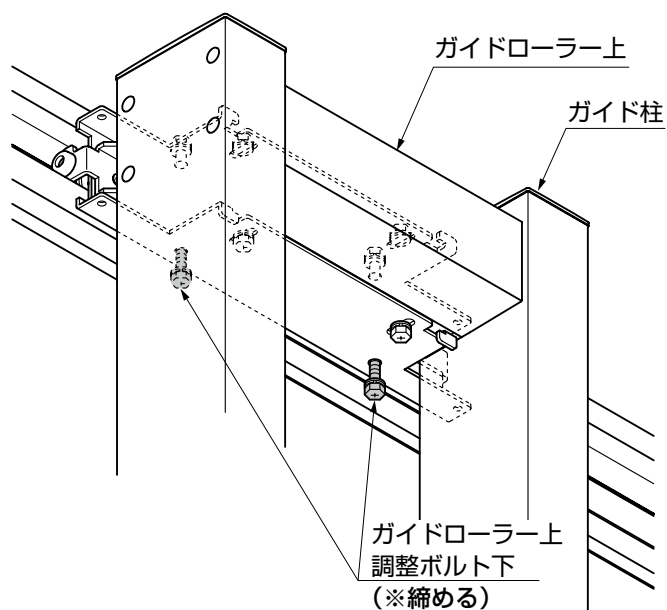
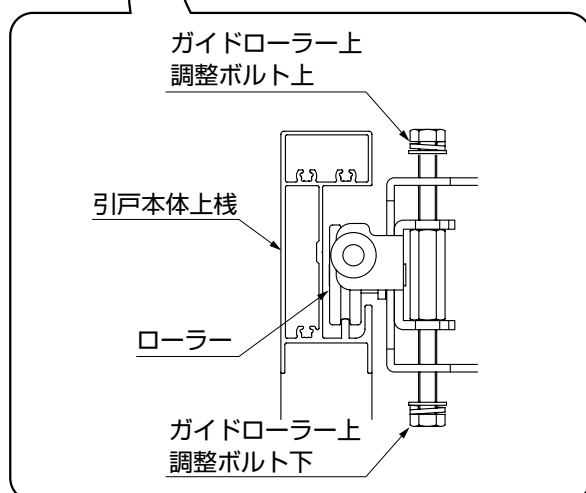


図6-4

- ④ガイドローラー上の調整ボルト下を締めて引戸本体を仮止めしてください。(図6-4参照)

ポイント

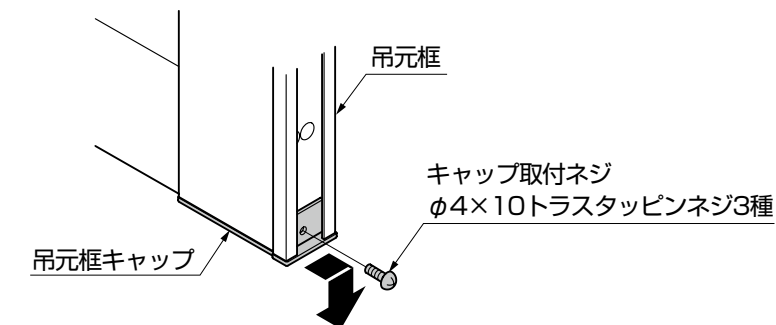
- 吊込みは、引戸本体にキズが付かないよう注意してください。
- ガイドローラーのローラー溝に、引戸本体の上棧・下棧のレールがそれぞれ納まっていることを確認してください。

7. ヒンジの取付け

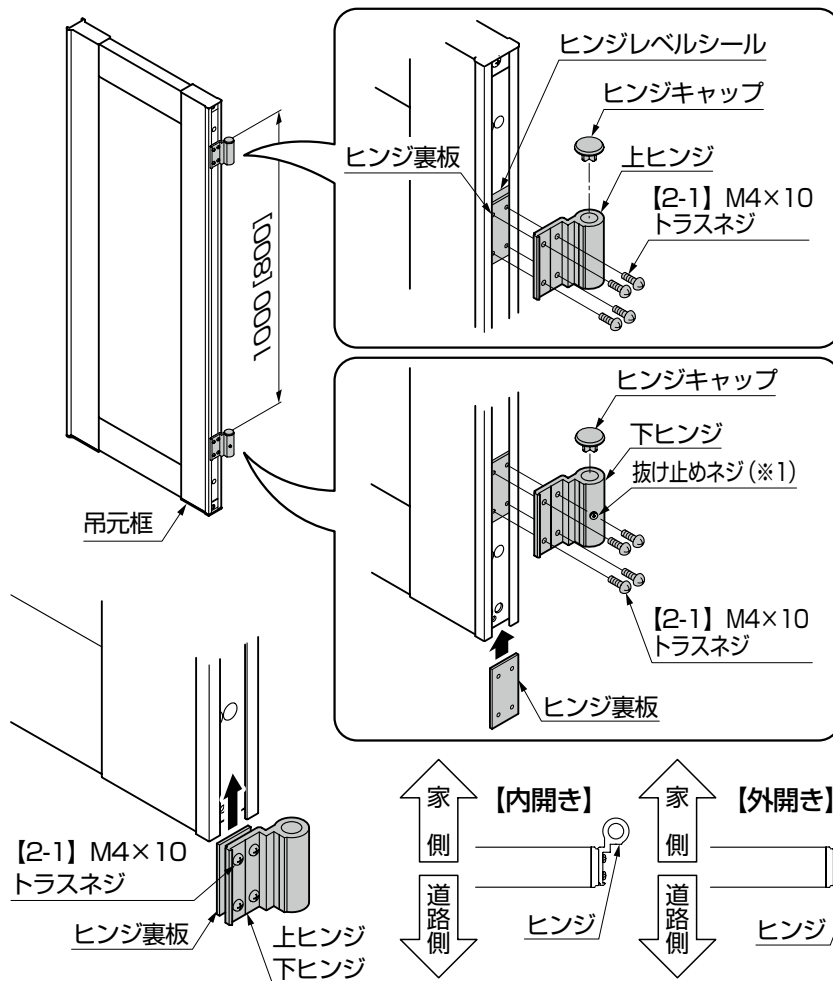
※開戸付きの場合の作業です。

※図はH12の場合の寸法です。[] 内寸法はH10を示します。

※図は右勝手を示します。



- ①キャップ取付ネジを取外し、手前に吊元框キャップを引き、下へ取外してください。



- ②ヒンジ裏板を吊元框下端からスライドして、各ヒンジを図に示す位置に【2-1】で固定してください。

- ③ヒンジキャップを取付けてください。

ポイント

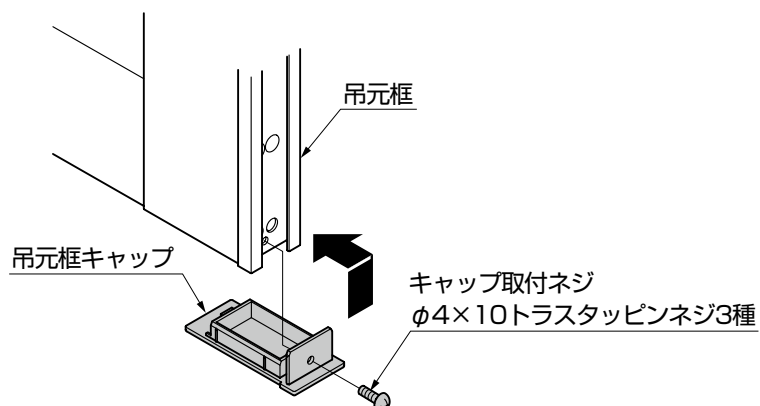
- ヒンジには上ヒンジと下ヒンジの区別があります。
- 抜け止めネジ(※1)がついているヒンジが下ヒンジです。

補足

- ヒンジにはあらかじめ裏板が仮組みされていますので、仮組みした状態で吊元框にスライドさせ、取付けてください。(図7-1参照)
- ヒンジの向きは内開きと外開きで異なります。(図7-2参照)

図7-1 簡単な取付け方

図7-2 ヒンジ取付方向

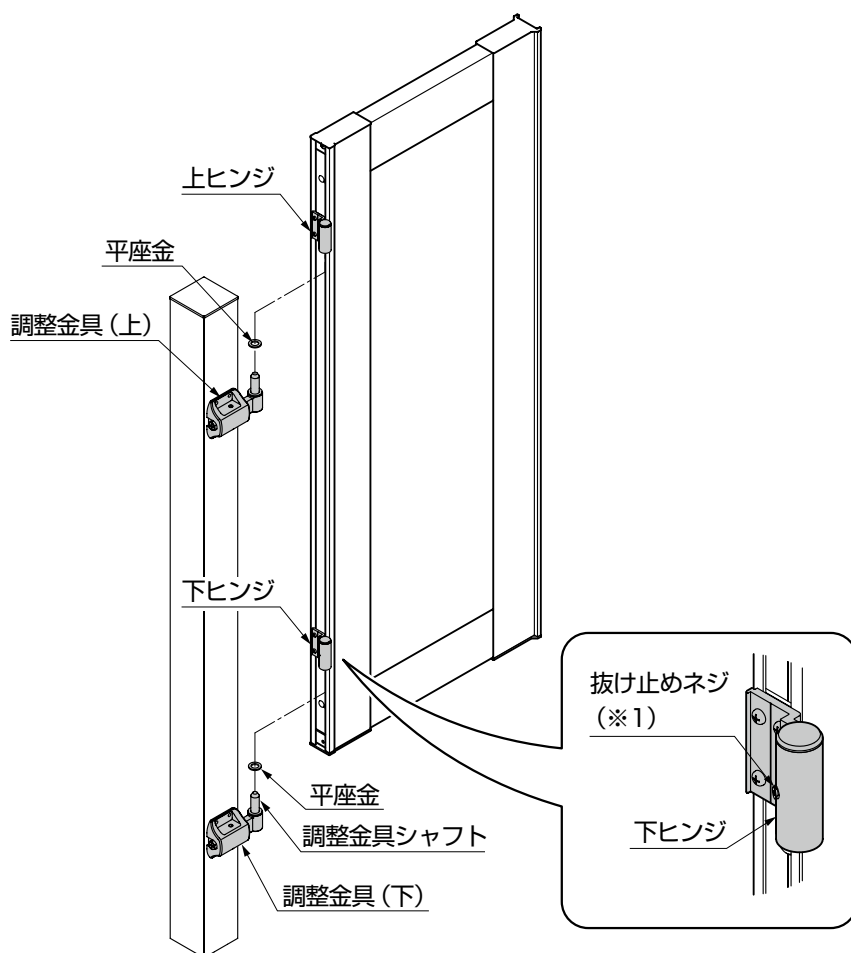


- ④ヒンジの取付けが終了したら吊元框キャップを取外した手順と逆の手順で取付けます。

ポイント

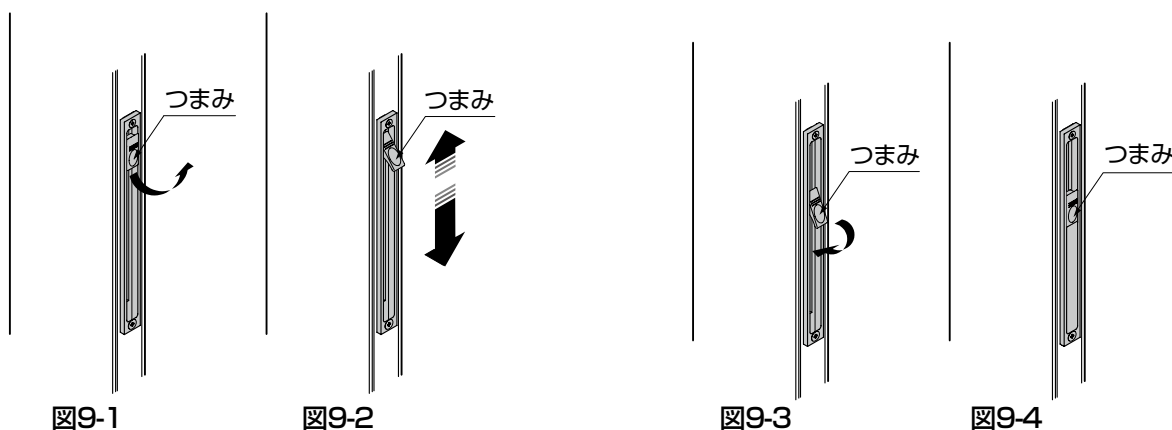
- 吊元框キャップの取付けには、電動ドライバーを使用しないでください。

8. 開戸の吊込み



- ①下ヒンジの「抜け止めネジ(※1)」を緩めてください。
- ②吊元柱に同梱の平座金を、調整金具シャフトに取り付けてください。
- ③調整金具シャフトに上ヒンジ、下ヒンジを差込んで、開戸を吊込んでください。
- ④下ヒンジの「抜け止めネジ(※1)」を締めてください。

9. 落とし棒の操作方法



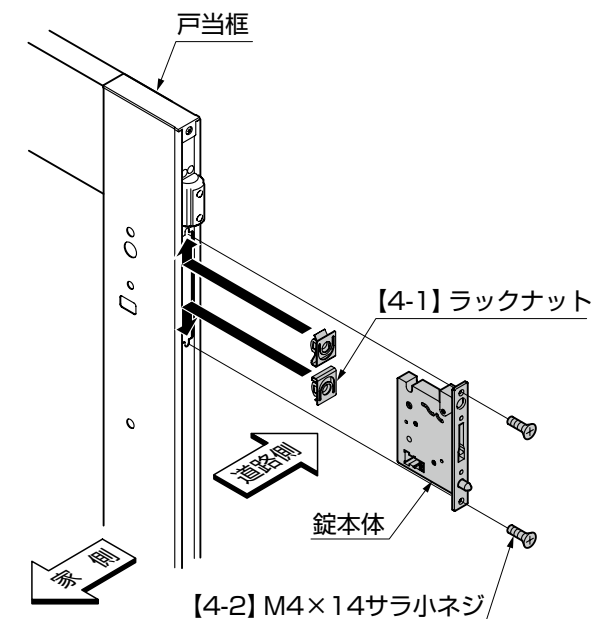
- ①つまみを引き上げ、ロックを解除してください。(図9-1参照)
- ②①で起こしたつまみをそのまま上下させて落とし棒を操作します。(図9-2参照)
- ③落とし棒の位置が決定したら、つまみを元にもどしてロックしてください。(図9-3参照)

ポイント

- 落とし棒操作時以外は、ロック状態にしてください。(図9-4参照)

10. 錠ハンドルの取付け

10-1 両面シリンダーの場合



① 戸当框に【4-1】を取付けてください。

ポイント

- 【4-1】を、切欠き部にはさみこむように取付けてください。
- 小さい部品ですので紛失しないように気を付けてください。

② 錠本体を戸当框に【4-2】で取付けてください。

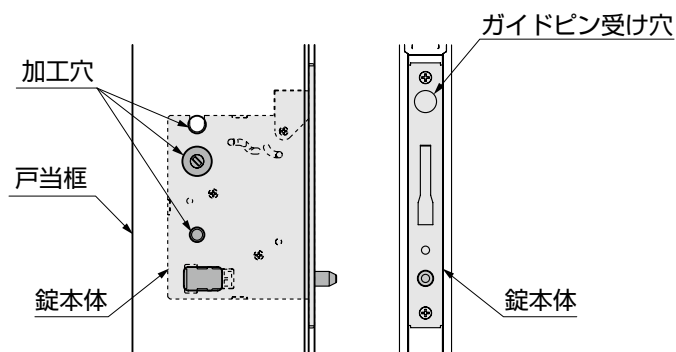


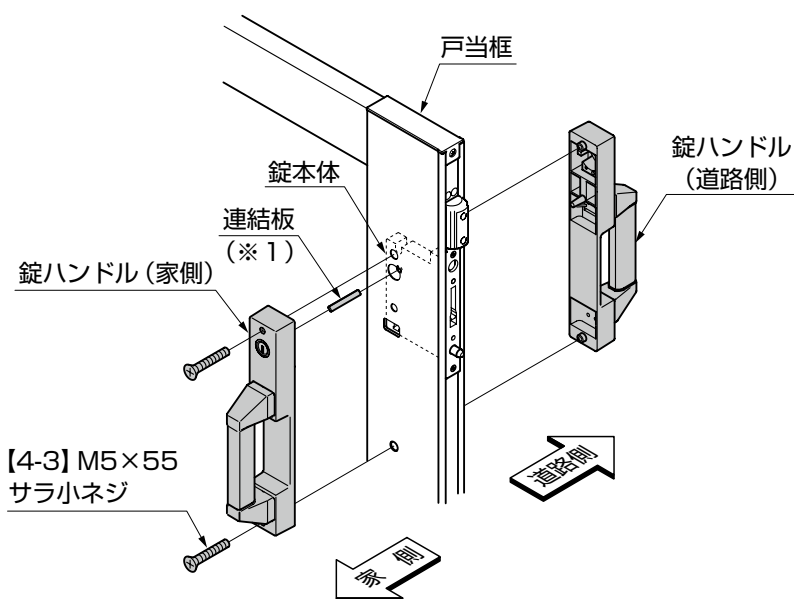
図10-1

ポイント

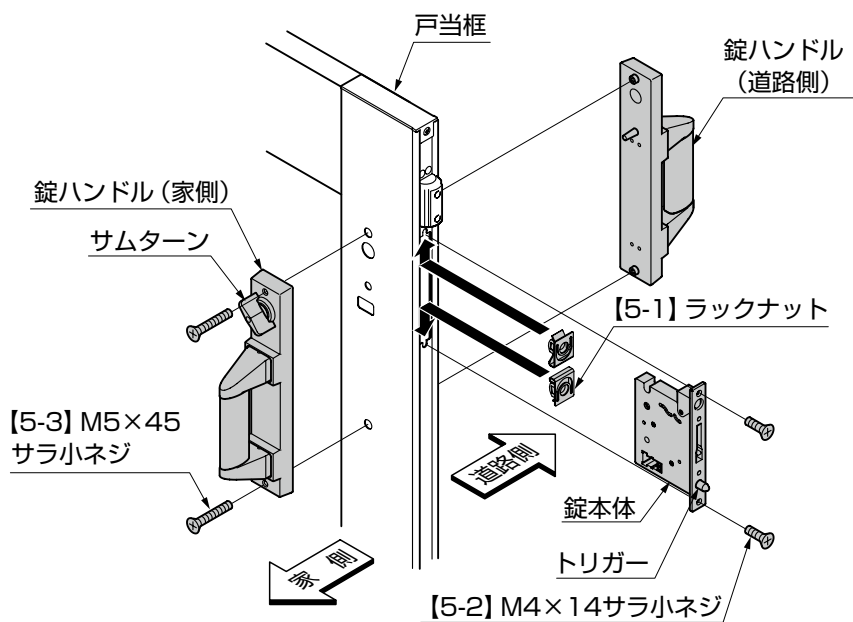
- 戸当框の加工穴と錠本体の穴位置の中心を合わせて固定してください。(図10-1参照)
- 【4-2】を締め付ける時は、【4-1】が回転して錠本体のガイドピン受け穴に掛からないように固定してください。
- 連結板(※1)は錠ハンドル(家側)に固定されています。

③ 連結板を錠本体に差込んでください。

④ 錠ハンドルを【4-3】で取付けてください。



10-2 片面シリンダーの場合 オプション



①戸当框に【5-1】を取付けてください。

ポイント

- 【5-1】を、切欠き部にはさみこむように取付けてください。
- 小さい部品ですので紛失しないように気を付けてください。

②錠本体を戸当框に【5-2】で取付けてください。

ポイント

- 戸当框の加工穴と錠本体の穴位置の中心を合わせて固定してください。(図10-2参照)
- 【5-2】を締め付ける時は、【5-1】が回転して錠本体のガイドピン受け穴に掛からないように固定してください。

③錠ハンドルを【5-3】で取付けてください。

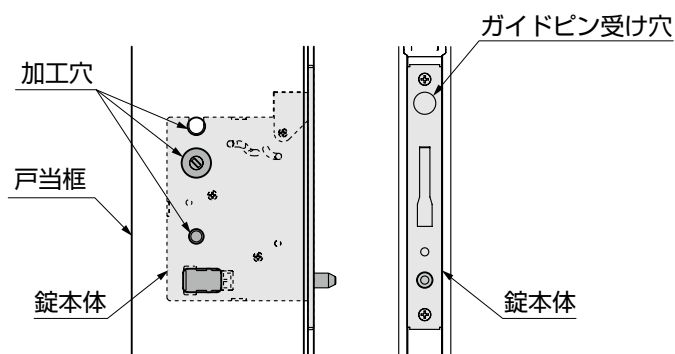
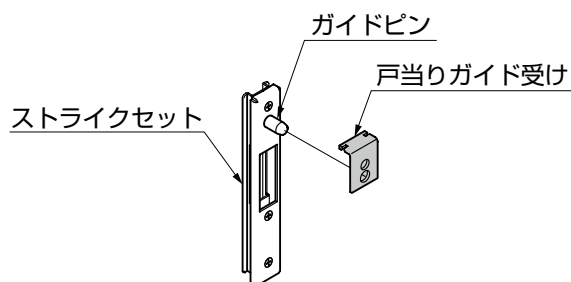


図10-2

11. ストライクセットの取付け

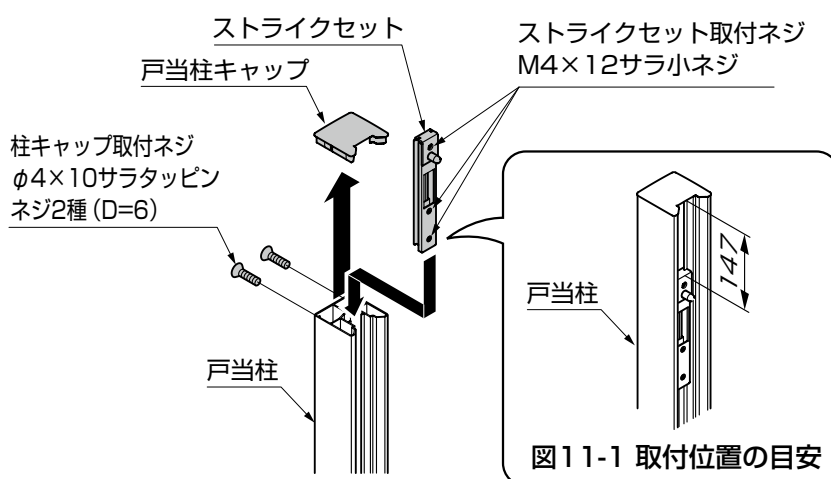
11-1 戸当りガイド受けの取付け



- ①戸当りガイド受けの下側の穴を、ストライクセットのガイドピンに通して取付けてください。

11-2 ストライクセットの取付け

(1) 片引きの場合



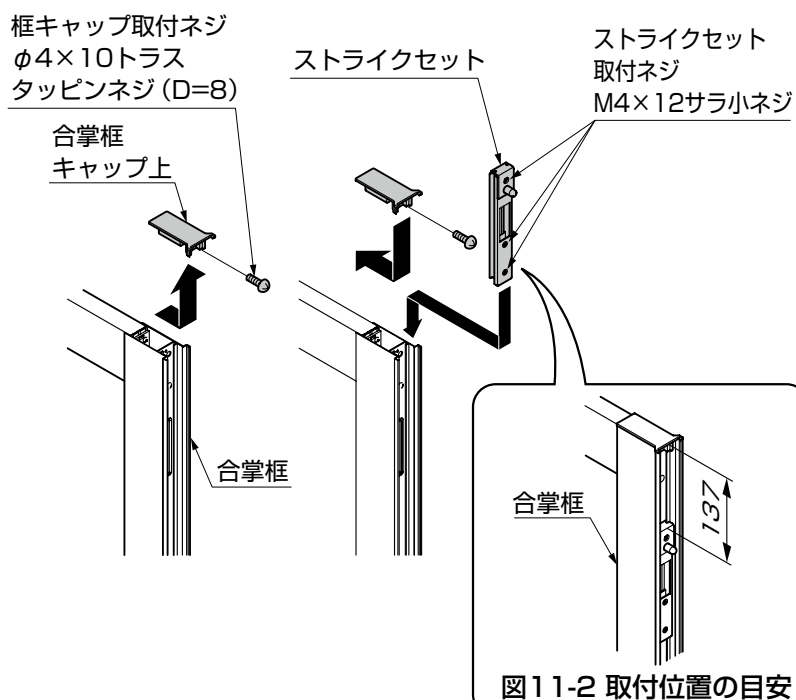
- ①柱キャップ取付ネジを取外し、戸当柱キャップを取外してください。
- ②ストライクセットのネジを緩め、戸当柱にスライドし、適当な位置でネジを締め、仮固定してください。(図11-1参照)

補足

- ストライクセットの位置は引戸本体の調整後に再度調整します。(「16.ストライクの調整」参照)

- ③戸当柱キャップを取外した手順と逆の手順で取付けてください。

(2) 開戸付きの場合



- ①框キャップ取付ネジを取外し、手前に合掌框キャップ上を引き、上へ取外してください。
- ②ストライクセットのネジを緩め、合掌框にスライドし、適当な位置でネジを締め仮固定してください。(図11-2参照)

補足

- ストライクセットの位置は引戸本体の調整後に再度調整します。(「16.ストライクの調整」参照)

- ③合掌框キャップ上を取外した手順と逆の手順で取付けてください。

12. 納まりの確認

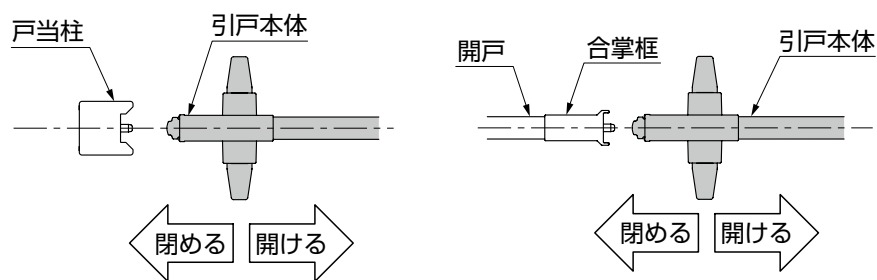


図12-1 引戸本体の納まり確認

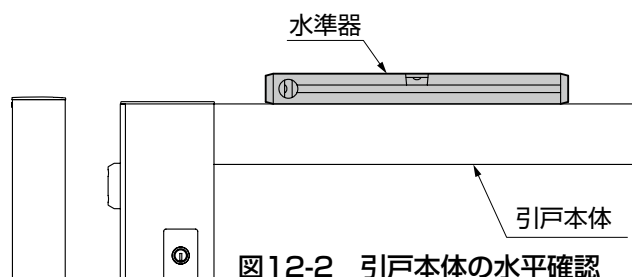


図12-2 引戸本体の水平確認

①引戸本体を開閉し、戸当柱または、合掌框に引戸本体の戸当框が納まるか確認してください。(図12-1参照)

②引戸本体の上側に水準器をあて、引戸本体が水平かどうか確認してください。(図12-2参照)

③引戸本体が納まらない場合、引戸本体の開閉がスムーズでない場合は、「13-2 前後の調整」「13-3 上下の調整」「13-4 開閉の調整」の順に調整してください。

13. 引戸本体の調整

※「2. ガイドローラー納まり図」も合わせて参照してください。

13-1 調整の前に

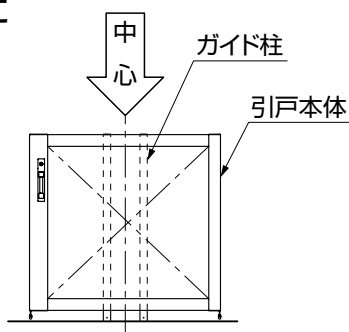


図13-1

①調整をするときには必ず引戸本体の中心とガイド柱の中心を合わせてください。(図13-1参照)

13-2 前後の調整

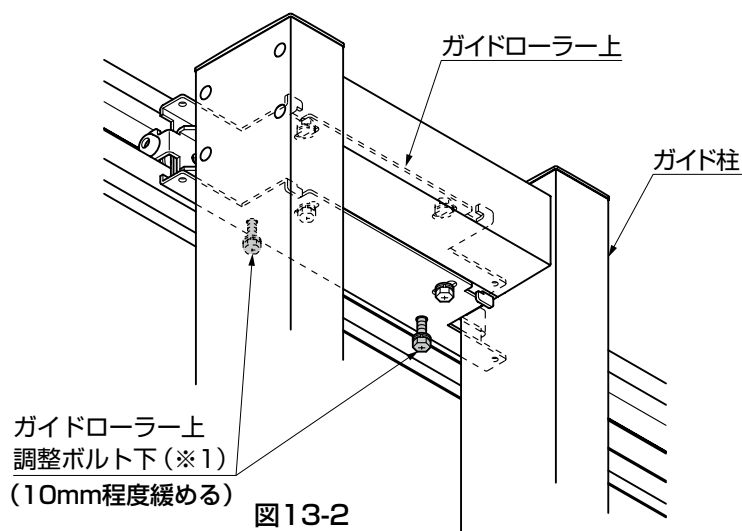


図13-2

①ガイドローラー上の調整ボルト下(※1)を10mm程度緩めてください。

ポイント

- 調整ボルトを緩めすぎると、ボルトが脱落したり、引戸本体がローラーから脱輪したりすることがあります。
- 調整の前にガイドローラー上の調整ボルト下を必ず緩めてください。緩めないまま調整を行うと、ガイドローラーが破損するおそれがあります。

13. (つづき)

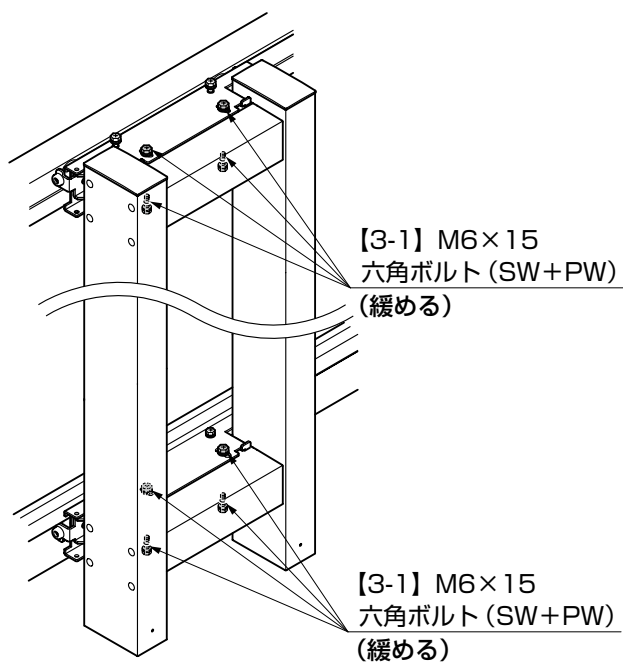


図13-3

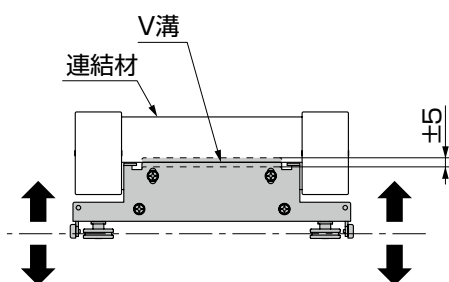


図13-4 全体を動かす場合

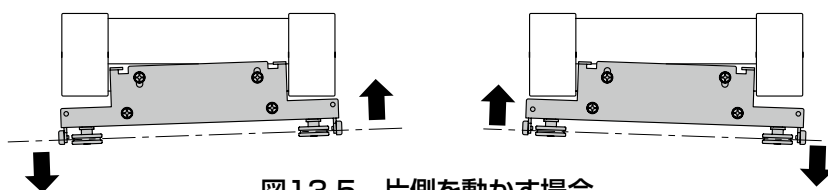


図13-5 片側を動かす場合

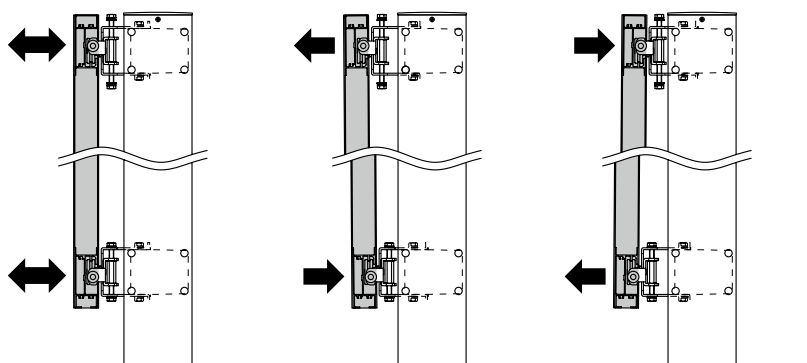


図13-6

②ガイドローラー上、ガイドローラー下を固定している【3-1】を、ガイドローラーが動く程度に緩めてください。

③引戸本体の前後を調整してください。
(図13-4、図13-5、図13-6参照)

補足

- ガイドローラーは、連結材のV溝を基準に最大±5mmまで前後に調整できます。
- 開閉を確認する場合は必ず緩めたボルトを仮締めしてから行ってください。
- 引戸本体が納まらない場合は、繰り返し調整してください。

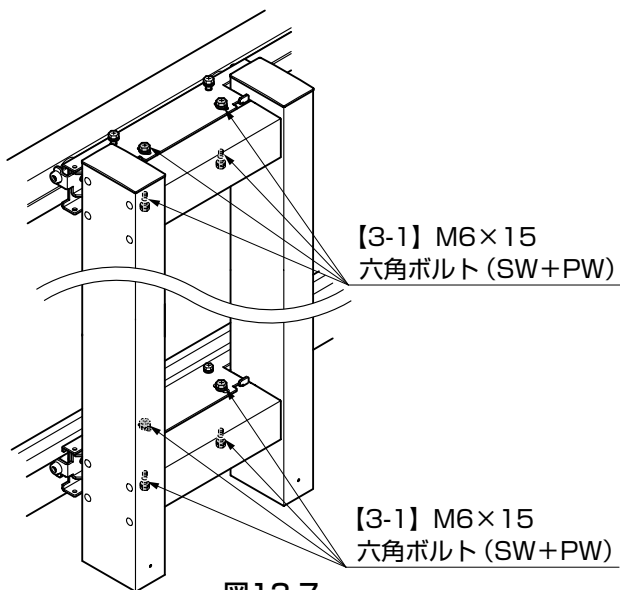


図13-7

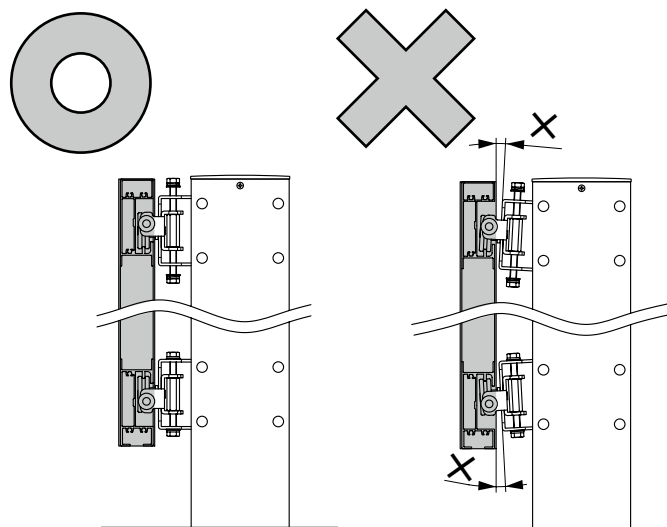


図13-8

④引戸本体が受け側に正確に納まることが確認できたら【3-1】をしっかりと締め、固定してください。(図13-7参照)

補足

●ガイドローラーを固定するときは、ガイドローラーが傾いていないことを確認してください。(図13-8参照)

13-3 上下の調整

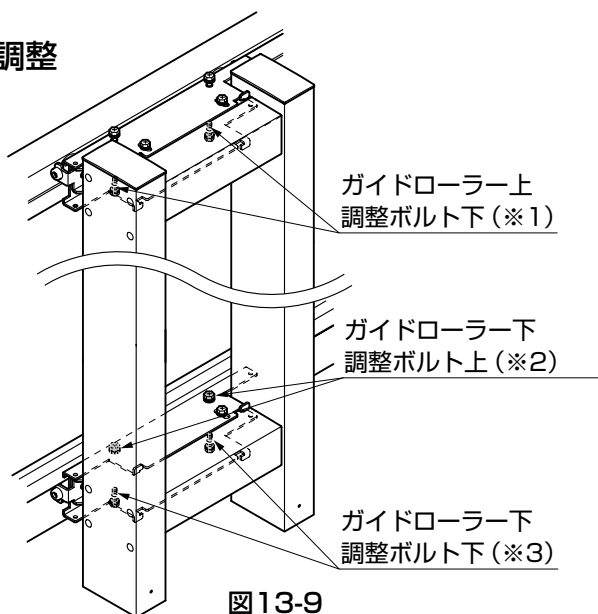


図13-9

①ガイドローラー上の調整ボルト下(※1)、ガイドローラー下の調整ボルト下(※3)をそれぞれ10mm程度緩めてください。(図13-9参照)

②ガイドローラー下の調整ボルト上(※2)で引戸本体の上下を調整してください。(図13-10、図13-11参照)

ポイント

- 引戸本体の水平を確認しながら調整してください。
- 調整ボルトは、引戸本体の上下を確認しながら少しずつ調整してください。
- 調整ボルトの調整には、電動ドライバーを使用しないでください。

補足

●ガイドローラー下の調整ボルト上(※2)を締めると、引戸本体が上がります。緩めると下がります。

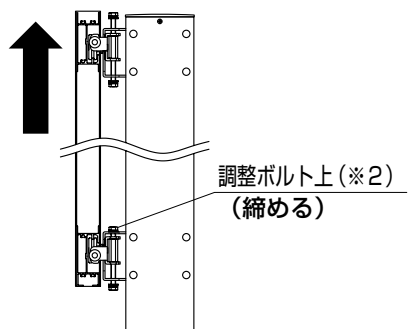


図13-10 引戸本体を上げる場合

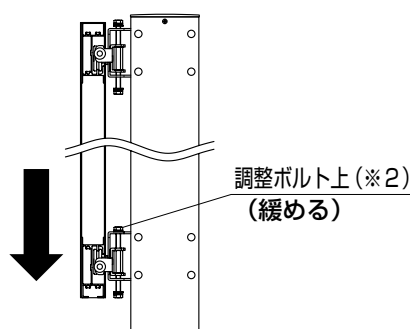


図13-11 引戸本体を下げる場合

③調整後、ガイドローラー上の調整ボルト下(※1)を締めてください。

13. (つづき)

13-4 開閉の調整

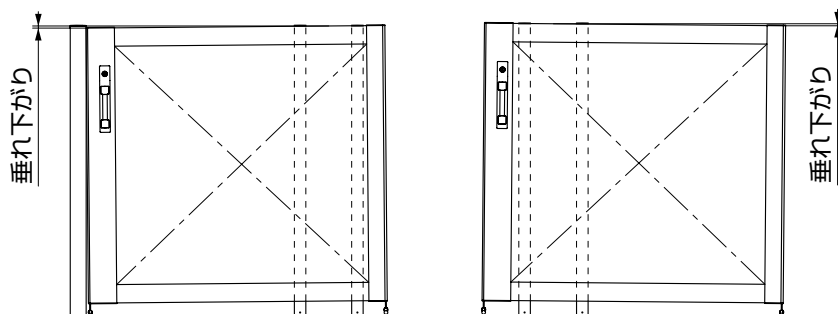


図13-12 引戸が垂れる場合

- ①開閉時に引戸本体が垂れる場合は、ガイドローラー上の調整ボルト下(※1)を締めてください。(図13-13参照)
- ②引戸本体の開閉がきつい、動きが重いと感じる場合は、ガイドローラー上の調整ボルト下(※1)を緩めてください。(図13-13参照)

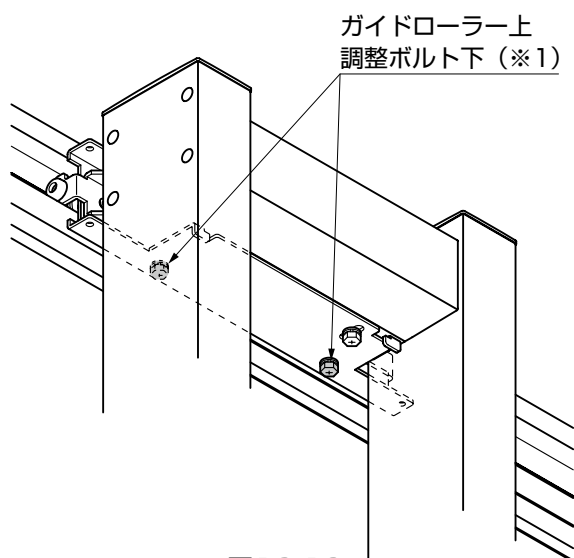


図13-13

ポイント

- 引戸本体の開閉をして、引戸本体の垂れ下がりがなく、開閉の動きがきつくないように調整してください。
- 調整は引戸本体の水平を確認しながら少しずつ行なってください。
- 調整ボルトの調整には、電動ドライバーを使用しないでください。

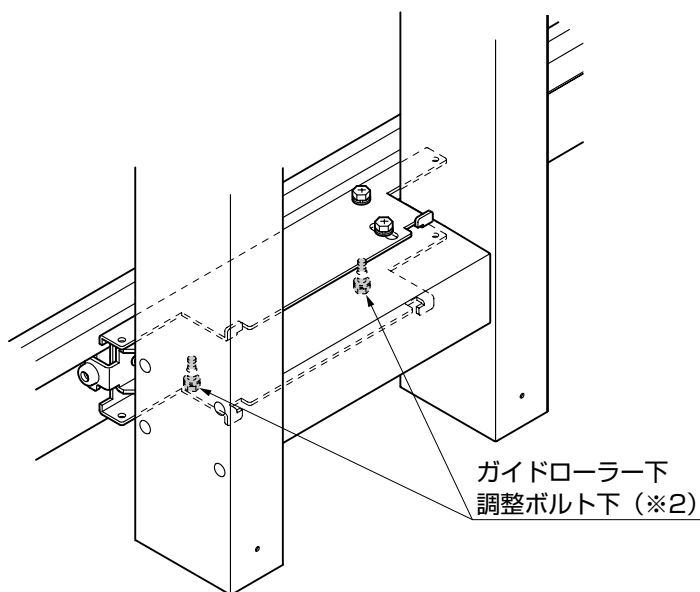


図13-14

- ③ガイドローラー下の調整ボルト下(※2)を締めてください。(図13-14参照)

補足

- ガイドローラー下の調整ボルト下を締めるときは、調整ボルト上が回らないようスパナ等で固定して締めてください。

15. (つづき)

15-2 調整金具の調整方法 ※固定ボルトは必ず呼び10のスパナを使用してください。(※1)

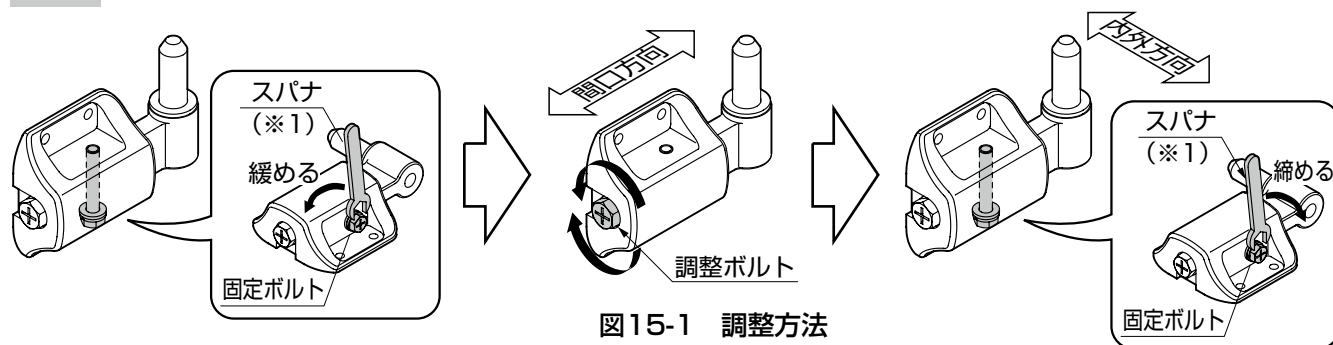


図15-1 調整方法

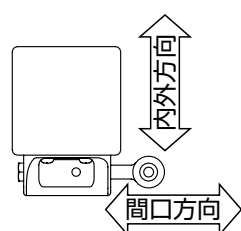


図15-2

表15-1 調整範囲

内外方向	±4.5
間口方向	±8.5

①「固定ボルト」を呼び10のスパナで緩めてください。

ポイント

●「固定ボルト」を締めたまま間口寸法を調整すると「固定ボルト」が破損します。

②内外寸法を決めたあと、「固定ボルト」の固定は呼び10のスパナで締付けてください。

補足

●調整範囲は表15-1を参照してください。

16. ストライクの調整

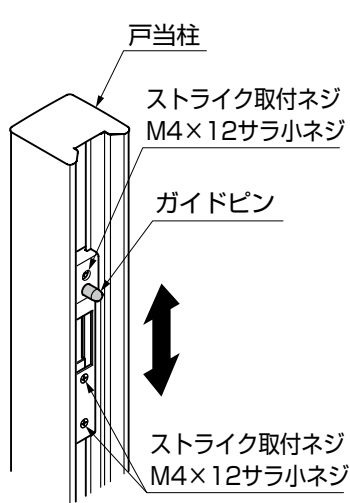


図16-1 片引きの場合

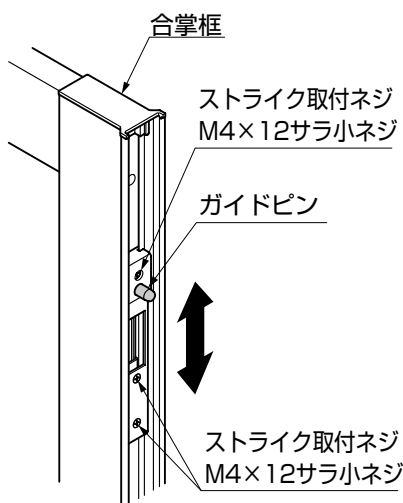


図16-2 開戸付きの場合

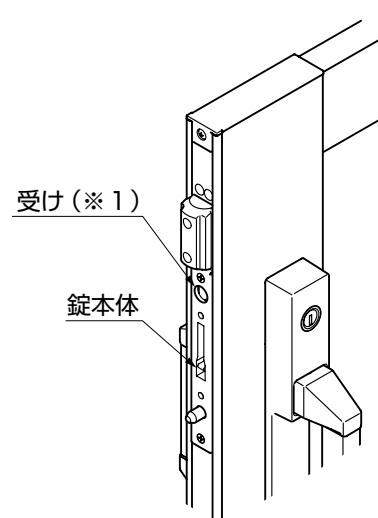
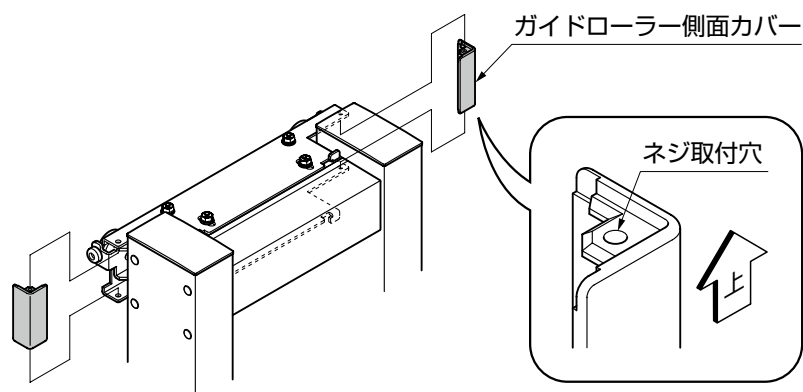


図16-3 引戸 錠本体部

①ストライク取付ネジを一旦緩めてください。

②引戸本体をゆっくり閉めながらストライクのガイドピンと錠本体の受け(※1)がかん合する位置にストライクを上
下調整してストライク取付ネジを締めて固定してください。

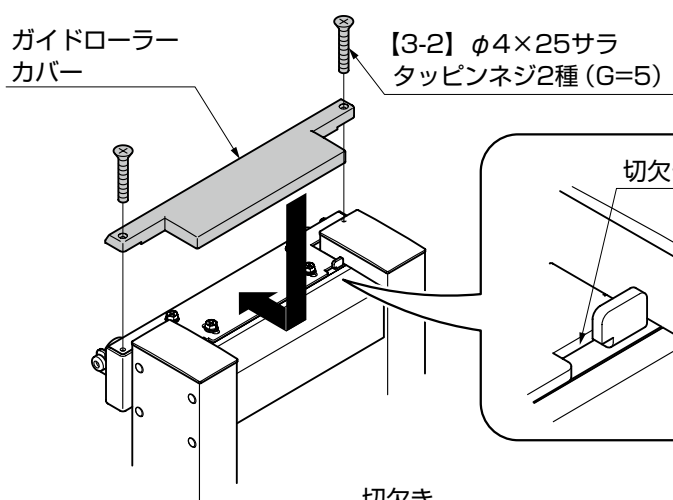
17. ガイドローラーカバーの取付け



- ①ガイドローラー側面カバーをガイドローラー上、ガイドローラー下の側面にそれぞれ取付けてください。

ポイント

- ガイドローラー側面カバーは上下の向きに気をつけて取付けてください。



- ②ガイドローラーカバーをガイドローラー上、ガイドローラー下にそれぞれ取付けてください。

補足

- ガイドローラーカバーは、つめがガイドローラーの切欠き部分にかかるようになっています。
(図17-1、図17-2参照)

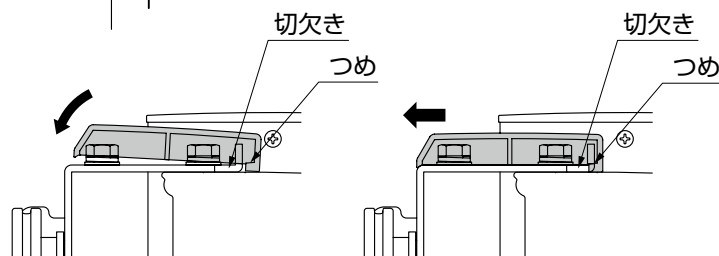
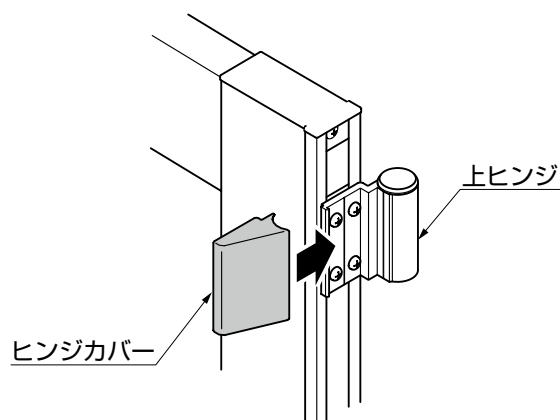


図17-1

図17-2

- ③ガイドローラーカバーとガイドローラー側面カバーを【3-2】で固定してください。

18. ヒンジカバーの取付け



- ①上ヒンジと下ヒンジに、ヒンジカバーをはめ込んでください。

ポイント

- ヒンジカバーを挿入するときに「パチン」と音がすることを確認してください。

19. 落し棒受けの施工

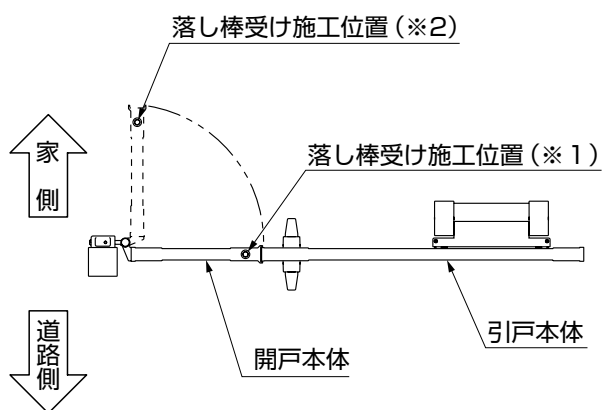
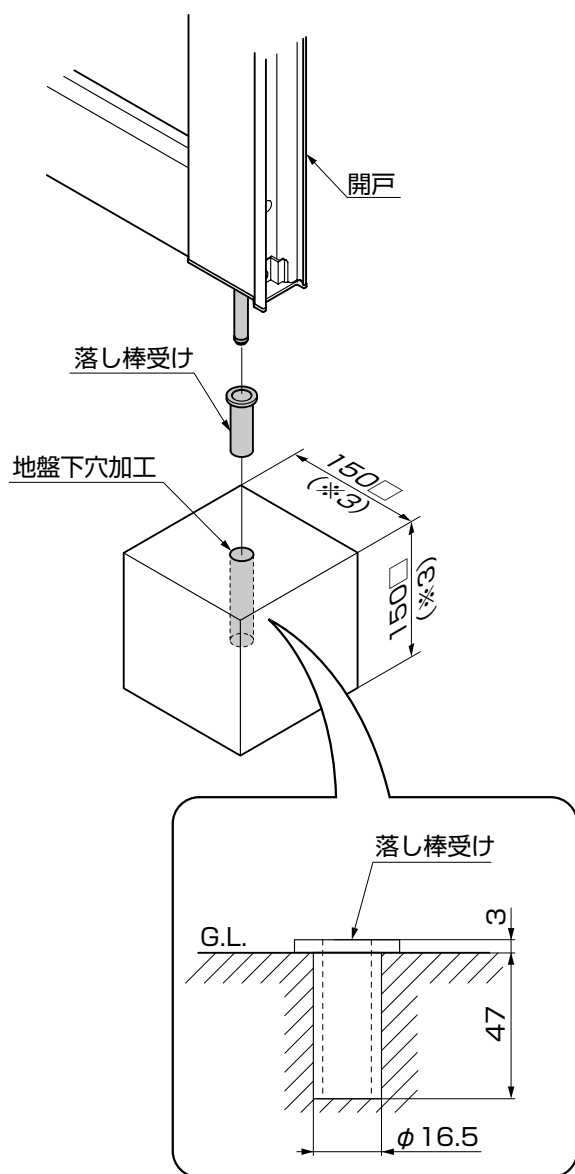


図19-1 内開き

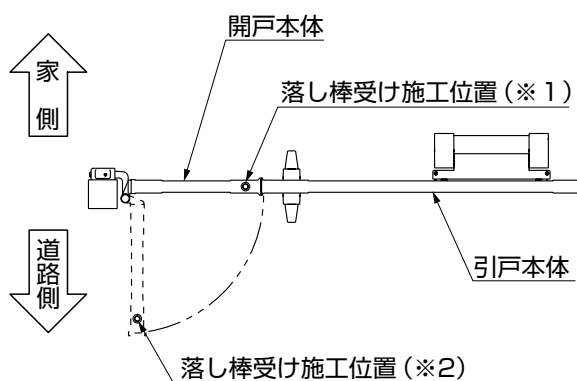


図19-2 外開き

- ①開戸を閉めた状態で落し棒を納める位置に、落し棒受けを施工してください。(※1)
- ②開戸を開いた状態で落し棒を納める位置に、落し棒受けを施工してください。(※2)

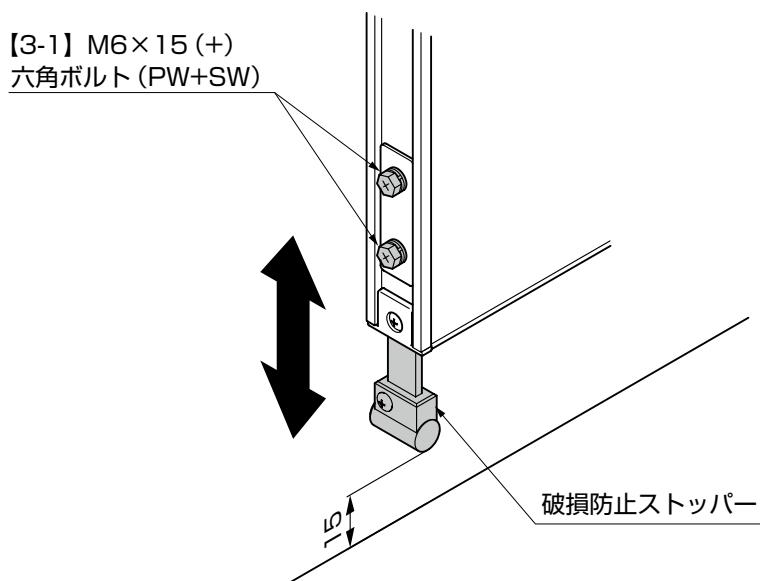
ポイント

- 落し棒受けの埋込位置は、現場合わせて決めてください。
- 基礎寸法は指定寸法以上にしてください。(※3)
- ロング柱の場合、必ずステップ上に落し棒受けを施工してください。
- ロング柱の場合、落し棒受けはステップの端部から50mm以上内側に施工してください。
- ロング柱の場合、開戸を開いた状態で落し棒の位置がステップ上に無い場合は、落し棒受けの施工はできません。

補足

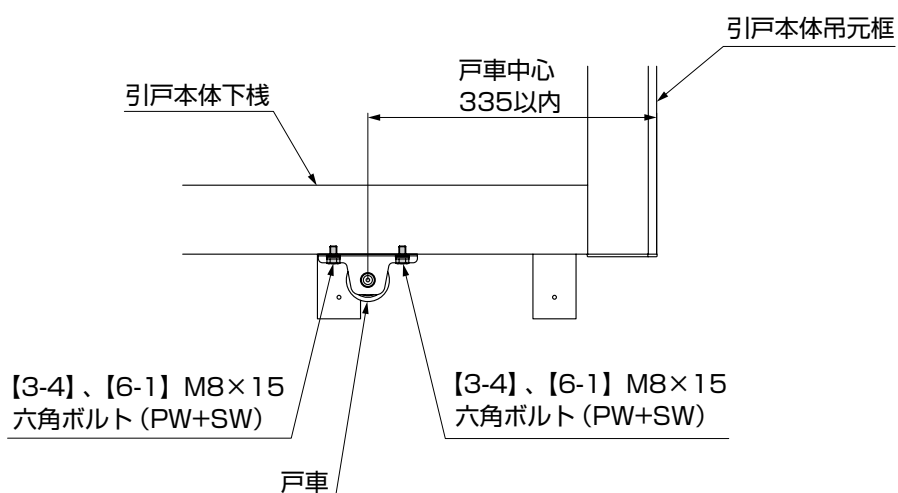
- 床面がタイル仕上げ等の場合は、落し棒受けの施工時に、床面が割れないように注意してください。
- 開戸を開いた状態の落し棒受け施工位置は、内開きと外開きで異なります。

20. 破損防止ストッパー調整



- ① 【3-1】を緩め、破損防止ストッパーの先端と接地面の隙間が15mmになるよう調整してください。
- ②調整後、【3-1】をしっかり締めてください。

21. 戸車の固定 ※ロング柱、サポートベース **オプション** を使用する場合の作業です。



- ①引戸本体の後端から335mm以内の位置で、戸車の位置を決めてください。
- ②【3-4】または【6-1】を締めて固定してください。

補足

- 引戸本体を全開にした時に、戸車が障害物などにあたらないようにしてください。
- 戸車の位置は、サポート柱またはサポートベースが施工できる位置にしてください。
- 戸車は、引戸本体の調整と開閉操作の確認をしてから固定してください。

22. サポート柱の施工 ※ロング柱の場合の作業です。

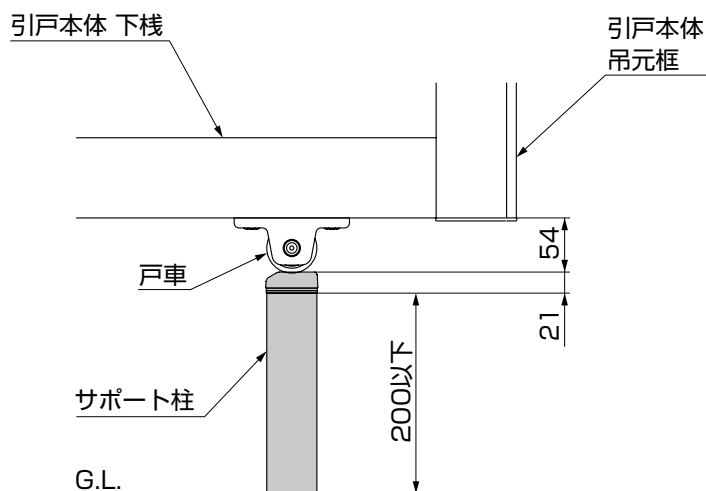


図22-1 サポート柱施工位置

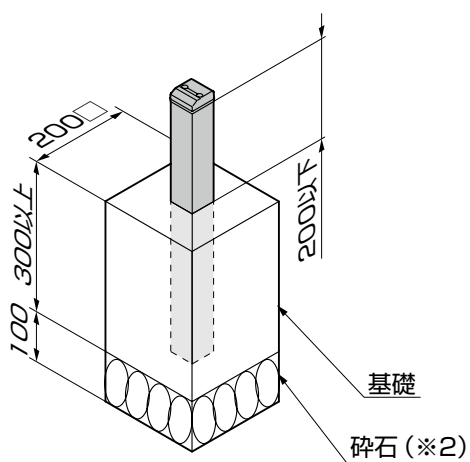


図22-2 サポート柱基礎寸法

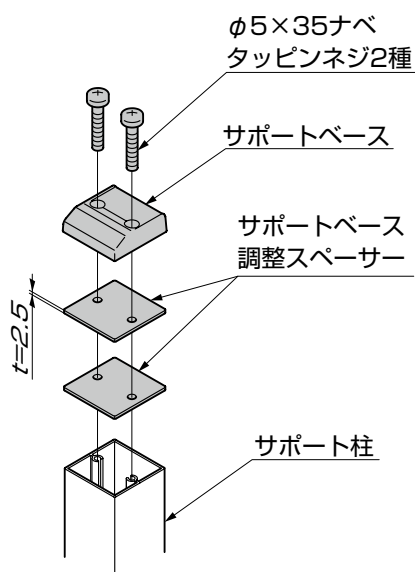


図22-3

- ①引戸本体を全開にし、戸車の中心に合わせてサポート柱をコンクリートで固定してください。

補足

- ステップ高さが200mm未満の時は、サポート柱の埋込み深さを調整してください。
- 埋込み深さが深すぎる場合は、サポート柱下端部を切断して埋込んでください。この時、埋込み深さは300mm以上確保してください。

- ②コンクリート硬化後、引戸を開閉してサポート柱の高さを確認してください。

- ③戸車の高さに合わせてサポートベース調整スペーサーの枚数を変更してください。(図22-3参照)

補足

- サポート柱の高さが足りない場合は、サポートベース調整スペーサーを追加してください。

23. サポートベースの施工 オプション

※戸車の取付については「3-2 戸車の取付け」を参照してください。

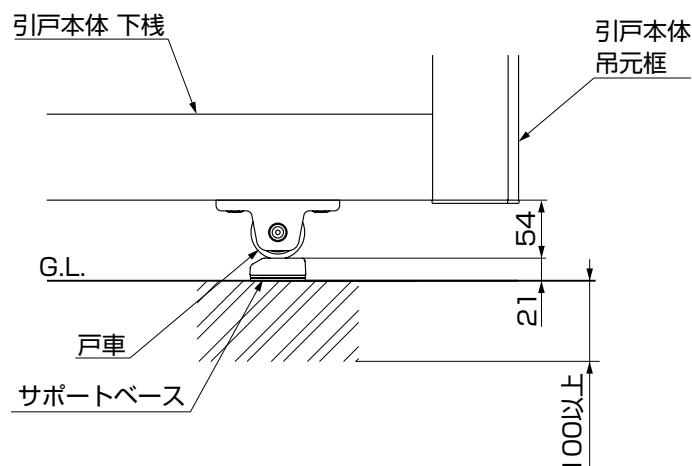


図23-1 サポートベース施工位置

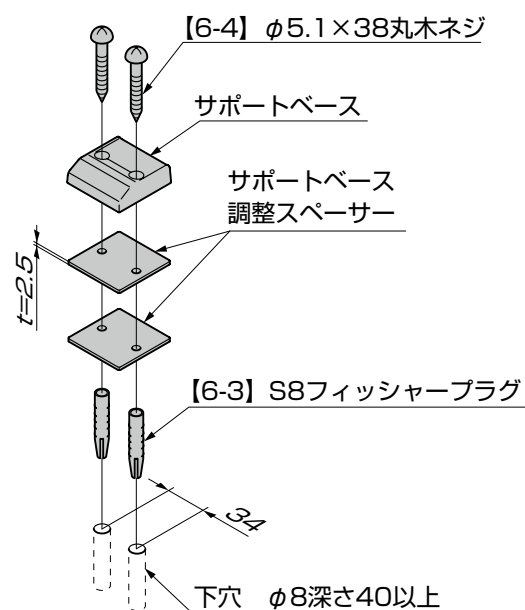


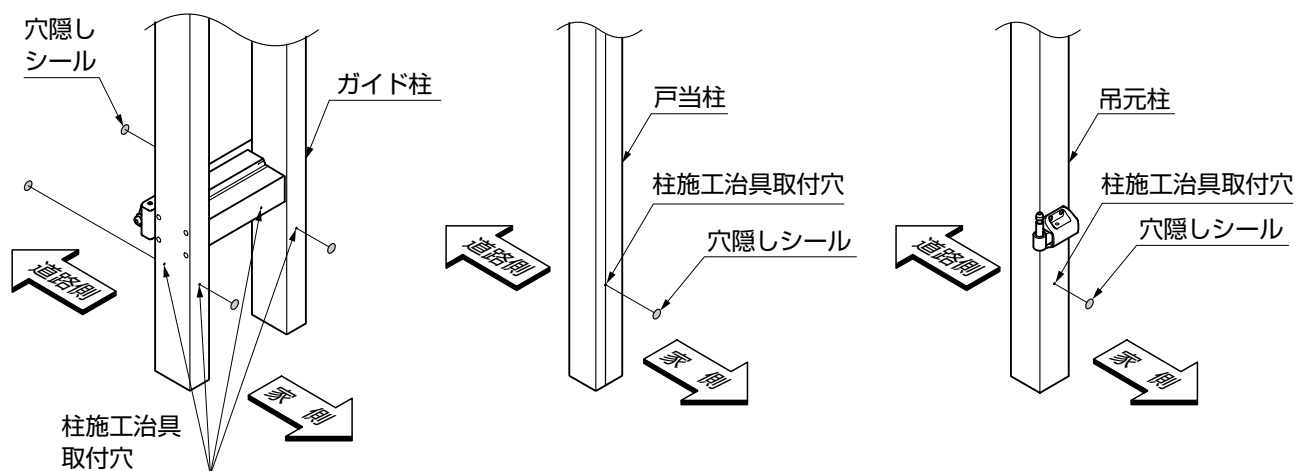
図23-2

- ①引戸本体を全開にし、戸車の中心に合わせてサポートベースの施工位置を決めてください。（図23-1参照）
- ②サポートベースの穴に合わせて基礎にφ8深さ40mm以上の下穴をあけてください。（図23-2参照）
- ③サポートベース、サポートベース調整スペーサーを【6-3】、【6-4】で取付けてください。

✎ 補足

- サポートベース調整スペーサーは、戸車の高さに合わせて枚数を変更してください。

24. 穴隠しシールの貼付け ※ロング柱のみの作業です。



- ①柱施工治具取付穴を穴隠しシールでふさいでください。

✎ 補足

- ガイド柱は家側・道路側、戸当柱・吊元柱は家側にそれぞれ柱施工治具取付穴があります。

